本書の構成

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくための注意事項や、本書の表記について説明しています。必ずお読みください。

第 1 章　ご購入後の操作

お買い求めいただいたパソコンを使えるようにするための操作を説明しています。必ず、本書の手順に従って操作してください。

第 2 章　快適にお使いいただくために

コンピュータウイルスや画面の設定方法などについて説明しています。

第 3 章　リカバリとインストール

本パソコンをご購入時の状態に戻す「リカバリ」とソフトウェアの「インストール」について説明しています。

第 4 章　困ったときに

おかしいなと思ったときや、わからないことがあったときの対処方法について説明しています。

第 5 章　技術情報

お使いになるうえでの留意事項を説明しています。

目次

本書をお読みになる前に 4
本書の表記 4

第 1 章　ご購入後の操作

1 セットアップ 8
Windows セットアップ 8
ネットワークの設定 11
タッチパネルの調整（〔MC〕タッチパネルモデル） 12
ユーザー登録を忘れずに 13
リカバリ CD-ROM 起動ディスクのコピー〔MC〕 13
ポータブル CD-ROM ドライブを使用するための設定
〔NA〕〔NU〕〔MR〕〔MF〕 15
2 プレインストール仕様 16
ソフトウェア一覧 16
デバイス一覧 19
ドライブ構成 21
アプリケーションのアンインストール 22

第 2 章　快適にお使いいただくために

1 コンピュータウイルス対策 24
VirusScan 24
コンピュータウイルスを発見した場合 25
コンピュータウイルスの被害届け 25
2 画面を設定する 27
解像度と色数 27
表示装置を切り換える 30
全画面表示の設定 33
3 内蔵モデムを設定する（モデム搭載モデルのみ） 34
4 省電力 36
スタンバイと休止状態 36
スタンバイ 37
休止状態 40
省電力の設定 42
5 ワイヤレスリンク 44

第3章　リカバリとインストール

1 リカバリ 46
リカバリの概要 46
リカバリ方法 48
ハードディスクの領域を設定する 51
2 ソフトウェアのインストール 53
ドライバのインストール 53
プレインストールソフトのインストール 54
添付ソフトのインストール 57

第4章　困ったときに

1 こんなときには 62
トラブル発生時の参照先 62
トラブルシューティング 62
2 それでも解決できないときは 68
お問い合わせ一覧 69
お問い合わせ前の確認シート 70

第5章　技術情報

1 ファイルシステムの変換 72
2 その他の留意事項 73

索引 79

本書をお読みになる前に

本書の表記

本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	ハードウェアやソフトウェアを正しく動作させるために必要なことが書いてあります。必ずお読みください。
▶	参照ページや参照マニュアルを示しています。

キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「＋」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

画面例

本書に記載されている画面は一例です。実際に表示されるウィンドウやファイル名などとは異なる場合があります。ご了承ください。

コマンド入力（キー入力）

本文中では、コマンド入力を次のように表記しています。

```
diskcopy  a:  a:
          ↑   ↑
```

- ↑の箇所のように文字間隔を空けて表記している部分は、【Space】キーを 1 回押してください。
- コマンド入力を英小文字で表記していますが、英大文字で入力してもかまいません。
- CD-ROM ドライブのドライブ名を、［CD-ROM ドライブ］と表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。

  ［CD-ROM ドライブ］:¥setup.exe

連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

BIOS セットアップの表記

本文中の BIOS セットアップの設定手順において、各メニューやサブメニューまたは項目を、「−」（ハイフン）でつなげて記述する場合があります。

例：「メイン」メニューの「フロッピーディスク A」の項目を「使用しない」に設定します。

↓

「メイン」−「フロッピーディスク A」：使用しない

フロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブ

フロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブが搭載されていないモデルの場合、各ドライブが必要な操作では、別売の周辺機器を用意してください。使用できる周辺機器については、『システム構成図』をご覧ください。

周辺機器の使用方法については周辺機器のマニュアルをご覧ください。

お問い合わせ先／ URL

本文中に記載されているお問い合わせ先や WWW の URL は 2000 年 11 月現在のものです。変更されている場合は、FM インフォメーションサービスへお問い合わせください（••▶『修理サービス網一覧表』参照）。

製品の呼びかた

本書に記載されている製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本書での表記	
Microsoft® Windows® Millennium Edition	Windows Me	Windows
Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION	Windows98	
Microsoft® Windows® 95 operating system	Windows95	
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows2000	
Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0	WindowsNT	
Microsoft® MS-DOS® operating system	MS-DOS	
NIFTY MANAGER for Windows Ver 5.12	NIFTY MANAGER	
VirusScan Ver.4.5 SR-1	VirusScan	
10 円メールマスター Ver.2	10 円メールマスター	
Intel® SpeedStep™ Technology Applet	Intel SpeedStep	
Adobe® Acrobat® Reader 4.05	Acrobat Reader	
Alps GlidePoint Driver	GlidePoint	
ドライバーズ CD ／マニュアル CD	ドライバーズ CD	

機種名表記

本文中の機種名表記は、次のようになっています。機種名を確認してください。

機種名	本文中の表記	
FMV-6850NA8/B FMV-6750NA8/L	〔NA〕	本パソコン パソコン本体
FMV-6700NU8/L FMV-655NU8C/L FMV-655NU8C/W	〔NU〕	
FMV-6650MR8/L	〔MR〕	
FMV-6600MF8/X FMV-655MF8/W FMV-6600MF8/X1 FMV-6600MF8/X2	〔MF〕	
FMV-650MC8/W FMV-650MC8/W1 FMV-650MC8/W2	〔MC〕	

モデル	本文中の表記
モデム搭載	モデム搭載モデル
LAN 搭載	LAN 搭載モデル
〔MC〕タッチパネル搭載	〔MC〕タッチパネルモデル
〔MC〕タッチパネル搭載なし	〔MC〕ベースモデル

Microsoft、Windows、MS、MS-DOS、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
K56flex は、Lucent Technologies 社、Conexant Systems Inc. の商標です。
VirusScan は、米国 Network Associates 社及び関連会社の商標又は登録商標です。
Intel® SpeedStep™ Technology は、米国 Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© 富士通株式会社 2000
画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

第 1 章

ご購入後の操作

お買い求めいただいたパソコンを使えるようにするための操作を説明しています。必ず、本書の手順に従って操作してください。

1　セットアップ 8
2　プレインストール仕様 16

1 セットアップ

初めて電源を入れたあとに行う Windows の初期設定（Windows セットアップ）について説明します。必ず、本書の手順に従って操作してください。

Windows セットアップ

次の「留意事項」をよくお読みになり、電源を入れて Windows セットアップを始めます。
なお、内蔵ポインティングデバイスがない場合には、あらかじめマウスを用意してください。

留意事項

- Windows セットアップを行う前に、周辺機器を取り付けないでください（カスタムメイドオプションを除く）。
  Windows セットアップを行う前に周辺機器を取り付けると、Windows セットアップが正常に行われない場合があります。
- LAN 搭載モデルは、セットアップが終了するまで、LAN ケーブルを接続しないでください。
  LAN ケーブルを接続してセットアップを行うと、エラーメッセージが表示される場合があります。
- Windows セットアップ時に音が鳴るので、スピーカーのボリュームを調整してください。
- Windowsセットアップの各ダイアログボックスが完全に表示されないうちにキーを押すと、Windows セットアップが正常に行われない場合があります。ダイアログボックスが完全に表示されてから、ポインティングデバイスで操作してください。
- 〔NA〕〔NU〕のワイヤレスマウス添付モデルは、内蔵ポインティングデバイスで Windows セットアップを操作してください。

セットアップ

1 内蔵ポインティングデバイスがない場合、マウスを取り付けます（⇒『ハードウェアガイド』参照）。

2 AC アダプタを接続し、本パソコンの電源を入れます。
しばらくすると、「Windows 2000 セットアップウィザードの開始」が表示されます。

3 「次へ」をクリックします。
「ライセンス契約」が表示されます。
「使用許諾契約書」は、本パソコンにあらかじめインストールされている Windows を使用するうえでの契約を記述したものです。

4 「使用許諾契約書」をよく読み、「同意します」をクリックし、「次へ」をクリックします。

POINT

- 「同意しません」を選択した場合は、「次へ」をクリックしたあと、メッセージに従って操作してください。

「ソフトウェアの個人用設定」が表示されます。

5 「名前」と「組織名」を入力し、「次へ」をクリックします。

「コンピュータ名と Administrator のパスワード」が表示されます。

6 「コンピュータ名」、「Administrator のパスワード」と「パスワードの確認入力」を入力し、「次へ」をクリックします。

モデム搭載モデルは、手順 9 へ進んでください。

LAN 搭載モデルは、「ネットワークの設定」が表示されます。

ネットワークの設定については、セットアップ完了後にネットワーク管理者に確認し、ご使用の環境に合わせて設定してください（↔▶ P.11）。

7 「標準設定」をクリックし、「次へ」をクリックします。

POINT

- 「標準設定」では、次のネットワークコンポーネントがインストールされます。
  - Microsoft ネットワーク用クライアント
  - Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
  - インターネットプロトコル（TCP/IP）

「ワークグループまたはドメイン名」が表示されます。

8 「このコンピュータはネットワーク上にないか、ドメインのないネットワークに接続している」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「Windows 2000 セットアップウィザードの完了」が表示されます。

9 「完了」をクリックします。

10 「再起動する」をクリックするか、または15秒待つと本パソコンが再起動します。

- LAN 搭載モデルの場合

  「ネットワーク識別ウィザードの開始」が表示されたら、「次へ」をクリックします。

  「このコンピュータのユーザー」が表示されます。
- モデム搭載モデルの場合（同時に LAN を搭載しているモデルは「LAN 搭載モデルの場合」参照）

  「Windows へログオン」ダイアログボックスが表示されます。手順 13 へ進んでください。

重 要

- LAN 搭載モデルで、「ネットワーク識別ウィザード」ダイアログボックスが表示されたとき、「戻る」をクリックしないでください。
  再設定が必要な場合は、設定終了後に該当個所を修正してください。

11 「ユーザーはこのコンピュータを ...」をクリックし、「次へ」をクリックします。

POINT

- 「ユーザーはこのコンピュータを ...」を選択した場合は、Windows 起動時に「Windows へログオン」ダイアログボックスが表示され、「常に次のユーザーがこのコンピュータに ...」を選択した場合は、「Windows へログオン」ダイアログボックスが表示されずに自動的にログオンされます。

「ネットワーク識別ウィザードの終了」が表示されます。

12 「完了」をクリックします。

「Windows へログオン」ダイアログボックスが表示されます。

13 手順 6 で入力したパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

「Windows 2000 の紹介」ダイアログボックスが表示されます。

POINT

- 本パソコンでは、「Windows 2000 の紹介」ダイアログボックスにある「Windows について」をクリックすると、「Windows CD が見つかりません」と表示されます。この場合は「キャンセル」をクリックしたあと、「ディスカバーツアーが見つかりません」ダイアログボックスで「c:¥support¥discover」と入力し、「OK」をクリックしてください。
- 「デジタル署名が見つかりませんでした」ダイアログボックスが表示されたら、「はい」をクリックしてください。

14 本パソコンを再起動し、Windows にログオンします。

最終設定が行われます。

これで、Windows セットアップが完了しました。

セットアップ後

カスタムメイドオプションでアプリケーションを選択している場合は、『アプリケーション補足説明書』をご覧ください。

また、ご使用の機種やモデルに応じて、次の記述をご覧ください。

LAN 搭載モデル	・「ネットワークの設定」（••▶ P.11） ・ ドライバーズ CD 内の「¥W2k¥LANDrv¥README.TXT」
モデム搭載モデル	「内蔵モデムを設定する（モデム搭載モデルのみ）」（••▶ P.34）
〔MC〕タッチパネルモデル	「タッチパネルの調整（〔MC〕タッチパネルモデル）」（••▶ P.12）

ネットワークの設定

LAN 搭載モデルは、Windows セットアップ後に、お使いのネットワーク環境に合わせて、次の手順に従って設定を行ってください。

ネットワークコンポーネントのインストール

POINT

- 使用するネットワークコンポーネントについては、ネットワーク管理者に確認してください。

1 「マイネットワーク」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
「ネットワークとダイヤルアップ接続」ウィンドウが表示されます。

2 「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

3 「インストール」をクリックします。
「ネットワークコンポーネントの種類の選択」ダイアログボックスが表示されます。

4 設定するネットワークコンポーネントを選択し、「追加」をクリックします。
以降、メッセージに従って設定を行います。

ネットワーク ID の設定

POINT

- 設定するネットワーク ID（コンピュータ名やドメイン名など）については、ネットワーク管理者に確認してください。

1 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

2 「ネットワーク ID」タブをクリックします。

3 「ネットワーク ID」または「プロパティ」をクリックし、コンピュータ名やユーザー名の設定を行います。

タッチパネルの調整（〔MC〕タッチパネルモデル）

ペンで画面をタッチした位置とマウスポインタの位置がずれている場合は、ペンのタッチ位置調整を行ってください。

調整方法

1 Administrator のグループとしてログオンします。

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Fujitsu Touch Panel」→「補正ツール」の順にクリックします。
白い補正画面が表示されます。

3 添付のペンで画面の赤い「＋」マークの近くをタッチし、タッチしたままペンを十字の中心に移動して、ペンをタッチパネルから離します。
このとき の位置は調整には無関係です。十字からずれていてかまいません。ペンでタッチして離した位置によって調整が行われます。
【Tab】キーを押して を表示しないようにすることもできます。
タッチすると「＋」マークが移動します。

4 同様に、順に 12ヶ所の点をタッチします。

POINT

- ペンの先を「＋」マークの交点に合わせて、正確にタッチしてください。
- 操作中は、手などがタッチパネルに触れないようにしてください。
- 続けて 2 回タッチしたときは、【←】【→】【↑】【↓】キーを押して「＋」マークを移動し、もう一度タッチしてください。

5 【Enter】キーを押します。
調整結果を確認する画面が表示されます。

POINT

- 「補正点が不正です。再入力して下さい。」と表示されたら、「OK」をクリックし、手順 3 からやり直してください。

6 画面の四隅や中央部分をなぞり、正しく調整されているか確認します。
再度調整する場合は、【Fn】キーを押しながら【←】キーを押し、手順 3 からやり直してください。

7 正しく調整されたら、【Enter】キーを押します。
「補正ツール」が終了します。
これで、タッチパネルが調整されました。

留意事項

- アイコンを右クリックするには、次の方法があります。
  - 【▤】（アプリケーション）キーを押す
    1　右クリックしたいアイコンの近くにペンを軽く押し付けます。
    2　アイコンの上までドラッグしてペンを移動します。
    3　【▤】（アプリケーション）キーを押します。
  - 【Ctrl】キーを押す
    次の 2 種類の方法があります。
    ・【Ctrl】キーを押しながらタッチする。
    ・【Ctrl】キーを一度押してからタッチする。
    設定方法は次のとおりです。
    1　「スタート」ボタン→「プログラム」→「Fujitsu Touch Panel」→「タッチパネルの設定」の順にクリックします。
    2　「つかう」をチェックし、「OK」をクリックします。
- タスクバーのアイコンが表示されない場合はクイックポイント IV で操作してください。
- タッチパネル調整を行ったあと、タスクバーに「タッチパネル補正ツール」のタスクが残ることがあります。タッチパネルの調整は終了していますので、「タッチパネル補正ツール」をクリックして表示を消してください。

ユーザー登録を忘れずに

本パソコンが使用できる状態になったら、添付のユーザー登録カードに必要事項を記入し、投函してください。
ユーザー登録カードは、弊社やソフトウェア会社が自社製品のユーザーを把握し、さまざまな情報を提供する際に利用するものです。
ソフトウェアのバージョンアップ（ソフトウェアの機能を強化し、版数を上げること）時や電話相談などには、ユーザー登録をしていることが条件ですので、忘れずに投函してください。

リカバリ CD-ROM 起動ディスクのコピー〔MC〕

〔MC〕に添付されている「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」には、リカバリ（••▶ P.46）に必要なファイルが含まれています。
次のものを用意してください。

- リカバリ CD-ROM 起動ディスク
- フロッピーディスクのラベル 1 枚（購入してください）
- 1.44MB フォーマット済 2HD フロッピーディスク 1 枚（購入してください）
- コネクタボックス（FDD ユニット（USB）の場合は不要）
- オプションのフロッピーディスクドライブ（別売）
  （フロッピーディスクドライブがない場合）

■ **コピー方法**

まず、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」を次の方法でコピーし、原本を保管用として普段はコピー（複製）をお使いください。

POINT

- FDD ユニット（USB）をお使いの場合は、フロッピーディスクドライブが「A:」ドライブ以外に割り当てられることがあります。

1. 必要に応じて周辺機器をパソコン本体に取り付けます（⋯▶『ハードウェアガイド』、『オプションのマニュアル』参照）。
2. Windows を起動します。
3. 添付されている「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」をセットします。
4. 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
   「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。
5. 「3.5 インチ FD（A:）」アイコンを右クリックし、「ディスクのコピー」をクリックします。
   「ディスクのコピー」ダイアログボックスが表示されます。
6. コピー元とコピー先に「3.5 インチ FD（A:）」が選択されていることを確認し、「開始」をクリックします。
   メッセージに従ってコピーを作成してください。
7. コピーが終了したら「閉じる」をクリックします。

ポータブル CD-ROM ドライブを使用するための設定〔NA〕〔NU〕〔MR〕〔MF〕

リカバリ CD-ROM 起動ディスクの作成

ポータブル CD-ROM ドライブを使用する場合は、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」が必要です。このため〔NA〕〔NU〕〔MR〕〔MF〕でポータブル CD-ROM を使用する場合は、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」を作成する必要があります。
あらかじめ作成用のフロッピーディスクとラベルを１枚ずつ用意してください。
作成方法は次のとおりです。

重 要

▶ 〔NU〕〔MR〕〔MF〕で FDD ユニット（USB）をお使いの場合には、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」を作成する前に、BIOS の設定を変更してください（⋯▶『ハードウェアガイド』参照）。

- 「メイン」メニュー内
  フロッピーディスク A：使用しない
- 「詳細」メニュー内
  その他の内蔵デバイス設定
  - フロッピーディスクコントローラ：使用しない

  USB 設定
  - USB フロッピーディスク：使用する

なお、すべての作業を終えたら、必ず BIOS の設定を変更してください。

- 「メイン」メニュー内
  フロッピーディスク A：1.44/1.2 MB 3.5"
- 「詳細」メニュー内
  その他の内蔵デバイス設定
  - フロッピーディスクコントローラ：使用する

  USB 設定
  - USB フロッピーディスク：使用しない

1 CD ブートができる別のパソコンに、本パソコンの「リカバリ CD-ROM」をセットして CD-ROM から起動します。
CD-ROM からの起動方法については、お使いのパソコンに添付のマニュアルをご覧ください。

2 「起動エラー」のメッセージが表示されたら、【Esc】キーを押します。
メニューが終了し、コマンドプロンプトになります。

3 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
makefd
```

4 「リカバリ起動ディスクを作成します」のメッセージが表示されたらフロッピーディスクをセットして、【Enter】キーを押します。
フォーマットが始まり、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」が作成されます。

作成した「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」は、ラベルを貼り、書き込み禁止の状態にしてお使いください。

2 プレインストール仕様

Windows セットアップが終了した時点での本パソコンの環境は、次のとおりです。

POINT

- 各ドライバおよびソフトウェアの使用方法については、ヘルプまたは Readme.txt などの説明ファイルをご覧ください。

ソフトウェア一覧

プレインストールソフト

名称	備考
Microsoft Windows 2000 Professional（Service Pack 1）	「C:¥Winnt」フォルダにインストールされています。操作方法など詳細については、「スタート」メニューに登録されているヘルプか、添付されている『Microsoft® Windows® 2000 Professional クイックスタートガイド』をご覧ください。
Internet Explorer 5.01	WWW ブラウザです。
Microsoft IME 2000	日本語入力変換ユーティリティです。
Direct X7.0a	マルチメディアの機能を拡張します。Direct X7.0a に対応したソフトウェアの高速表示／高品位音声再生を実現します。
BATTERYAID	本パソコン独自の省電力機能を設定します。
Intel SpeedStep（〔NA〕〔MR〕、FMV-6700NU8/L、FMV-6600MF8/X）	電源の状態（AC アダプタまたはバッテリ）によって CPU のクロック周波数を変更し、消費電力を低下させます。
Windows 環境調査ツール（FM Advisor）	本パソコンの使用環境を調査します。また、動作環境取得ツールとしても使用できます。
Acrobat Reader	PDF（Portable Document Format）書類を表示、閲覧、印刷できます。
富士通 3 モードフロッピーディスクドライバ	1.44MB、1.23MB、1.2MB、720KB、640KB のフロッピーディスクを読み書きできる 3 モード対応のフロッピーディスクドライブ用のドライバです。 内蔵フロッピーディスクドライブまたは FMV-NFD324 用で、FDD ユニット（USB）では使えません。

名称	備考
FMV 診断	ハードウェアの故障箇所を的確に診断します。
Encryption Pack	現時点で最強な 128 ビット暗号化を使用して情報を保護します。
H"IN モジュール〔MF〕〔MC〕※1	H"IN 用のドライバです。H"IN モジュールについては、『モバイル通信ガイド』をご覧ください。
H"IN ユーティリティ〔MF〕〔MC〕※1	H"IN 用のユーティリティです。H"IN ユーティリティについては、『モバイル通信ガイド』をご覧ください。
Easy CD Creator ※2	データ CD や音楽 CD を作成するためのアプリケーションです。使用方法はアプリケーション内のヘルプをご覧ください。
DirectCD ※2	CD-R や CD-RW に直接データを書き込むためのアプリケーションです。使用方法はアプリケーションのヘルプをご覧ください。

カスタムメイドオプションのアプリケーションについては添付の『アプリケーション補足説明書』や各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。
プレインストールソフトは、必要に応じてアンインストールしてください（••▶ P.22）。
※1：H"IN 搭載モデルのみプレインストールされます。
※2：カスタムメイドオプションで内蔵 CD-R/RW ドライブユニットを選択している場合のみ、プレインストールされます。

添付ソフト（未インストール）

POINT

- 一部のソフトウェアの使用方法については、ヘルプまたは Readme.txt などの説明ファイルをご覧ください。

インストール方法は、「添付ソフトのインストール」（••▶ P.57）をご覧ください。

名称	備考
GlidePoint〔NA〕〔NU〕〔MR〕〔MF〕	フラットポイントの機能を拡張します。〔MF〕でスクロールボタンを使用するためには、GlidePoint が必要です。
セキュリティボタン〔NA〕※1〔MR〕〔MF〕〔MC〕	セキュリティボタンのパスワードを簡単に設定したり、ユーザーパスワードを設定／変更／削除したりできます。
ワンタッチボタン設定〔NA〕※1〔MR〕〔MF〕〔MC〕	セキュリティボタンをワンタッチボタンとして使えるようになります。ワンタッチボタンを押してアプリケーションを起動したり、メールをチェックしたりできます。
VirusScan	コンピュータウイルスを検出・駆除します（••▶ P.24）。
FM モバイルスイッチャー	LAN などのネットワーク環境で通信を行っているときに、通信設定を簡単に切り替えることができます。

名称	備考
FMKEEPER	パソコンのメモリ、ハードディスクや増設オプションなどの資産の情報を表示したり、パソコンを監視し発生した異常の詳細情報を参照できます。
10 円メールマスター	携帯電話を使用して、インターネットメールを送信／受信できます。
FM-Menu	ボタン式メニューから簡単にアプリケーションを起動できます。また、特定キーの入力や Windows 機能を制限します。
光磁気ディスク・ユーティリティ	光磁気ディスクのフォーマットやフォーマット／イジェクト権限の変更を行うユーティリティです。
はじめよう！インターネット（@nifty）	インターネットのプロバイダである @nifty に入会できます。
NIFTY MANAGER	パソコン通信ソフトです。使用方法については、NIFTY MANAGER のヘルプをご覧ください。
H"IN サインアップ〔MF〕〔MC〕※2	H"IN 用のサインアップソフトです。H"IN サインアップのインストールについては、『モバイル通信ガイド』をご覧ください。

※1：カスタムメイドオプションでセキュリティボタンを選択している場合のみ添付されます。

※2：H"IN 搭載モデルのみ添付されます。

デバイス一覧

POINT

- 本パソコンの仕様は、改善のため予告なく変更することがあります。その際、デバイス名称などが本書の記述と異なる場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

デバイス	名称	備考
DVD/CD-ROM ドライブ	〔NA〕〔NU〕〔MR〕 TEAC CD-224E または NEC CD-ROM DRIVE282 または MATSUSHITA CD-ROM CR-177 〔MF〕 TEAC CD-224E	内蔵CD-ROMドライブユニット搭載時
IDE ATA/ATAPI コントローラ	〔NA〕〔MR〕 Intel(R) 82801 BAM Ultra ATA Storage Controller - 244A セカンダリ IDE チャネル プライマリ IDE チャネル 〔NU〕 Intel(r) 82371AB/EB PCI Bus Master IDE Controller セカンダリ IDE チャネル プライマリ IDE チャネル 〔MF〕〔MC〕 Intel(r) 82440MX Bus Master IDE Controller プライマリ IDE チャネル	
PCMCIA アダプタ	〔NU〕 Texas Instruments PCI-1420 CardBus Controller 〔NA〕〔MR〕〔MF〕〔MC〕 O2Micro OZ6933 CardBus Controller	
USB（Universal Serial Bus）コントローラ	〔NA〕〔MR〕 Intel(R) 82801 BA/BAM USB Universal Host Controller - 2442 Intel(R) 82801 BA/BAM USB Universal Host Controller - 2444 USB ルート ハブ USB ルート ハブ 〔NU〕 Intel 82371AB/EB PCI to USB Universal Host Controller USB ルートハブ 〔MF〕〔MC〕 Intel(r) 82440MX USB Universal Host Controller USB ルートハブ 汎用 USB ハブ	汎用 USB ハブは、指紋認証用の内蔵ハブです。このポートを他の用途に使用することはできません。
キーボード	日本語 PS/2 キーボード（106/109 キー Ctrl ＋英数）	
コンピュータ	ACPI (Advanced Configuration and Power Interface) PC	

デバイス	名称	備考
サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ	〔NA〕〔MR〕 Intel(r) AC '97 Audio Controller - SigmaTel Codec オーディオ CODEC ビデオ CODEC メディア コントロール デバイス レガシ オーディオ ドライバ レガシ ビデオ キャプチャ デバイス 〔NU〕 Game port for Yamaha DS1 YAMAHA Legacy DS1 WDM Driver YAMAHA Native DS1 WDM Driver オーディオ CODEC ビデオ CODEC メディア コントロール デバイス ユニモデム半二重オーディオ デバイス レガシ オーディオ ドライバ レガシ ビデオ キャプチャ デバイス 〔MF〕 YAMAHA AC-XG Audio Device オーディオ CODEC ビデオ CODEC メディア コントロール デバイス レガシ オーディオ ドライバ レガシ ビデオ キャプチャ デバイス 〔MC〕 Intel(r) 82440MX AC'97 Audio Controller-SigmaTel Codec オーディオ CODEC ビデオ CODEC メディア コントロール デバイス レガシ オーディオ ドライバ レガシ ビデオ キャプチャ デバイス	ユニモデム半二重オーディオ デバイスはモデム搭載モデルのみ表示されます。
ディスプレイアダプタ	〔NA〕〔MR〕 ATI Mobility 128 AGP 4X (日本語) 〔NU〕 ATI RAGE MOBILITY-P AGP (Japanese) 〔MF〕〔MC〕 ATI RAGE MOBILITY-M PCI(Japanese)	解像度：1024 × 768 または 800 × 600（機種によって異なります） 色数：High Color（16 ビット）
ネットワークアダプタ	〔NA〕〔MR〕 Intel(R) PRO/100 VE Network Connection 〔NU〕〔MF〕〔MC〕 Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter (10/100)	LAN 搭載モデルのみ表示されます。
フロッピーディスクコントローラ	Fujitsu 3-mode floppy controller (Type 00)	〔MF〕のみ表示されます。
フロッピーディスクドライブ	Fujitsu 3-mode floppy disk drive	1.44MB/1.23MB/1.2MB/720KB/640KB の各容量のフロッピーディスクを読み書きできます。
ポート（COM と LPT）	プリンタポート（LPT1） 通信ポート（COM1）	

デバイス	名称	備考
マウスとそのほかのポインティングデバイス	〔MC〕タッチパネルモデル以外 PS/2 互換マウス 〔MC〕タッチパネルモデル Fujitsu Touch Panel(PS/2)	
モデム	〔NU〕 Fujitsu LB RWModem V.90 56K J 〔NA〕〔MR〕〔MF〕〔MC〕 Lucent Technologies Soft Modem AMR	Fujitsu LB RWModem V.90 56K J は、V.90/K56flex 対応のモデムです。 Lucent Technologies Soft Modem AMR は、V.90 対応モデムです。
モニタ	〔NA〕〔MR〕、FMV-6700NU8/L、FMV-655NU8C/L、FMV-6600MF8/X、FMV-6600MF8/X1、FMV-6600MF8/X2 （既定のモニタ） Digital Flat Panel (1024 x 768) テレビ FMV-655NU8C/W、FMV-655MF8/W、〔MC〕 （既定のモニタ） Digital Flat Panel (800 x 600) テレビ	テレビと表示されますが、接続できるのは〔NA〕のみです。
赤外線デバイス	SMC IrCC-Fast Infrared Port	

ドライブ構成

ドライブ	容量	備考
C	約 4GB	FAT32
D	〔総容量〕－〔C ドライブの容量〕	NTFS
E	CD-ROM（CD-R/RW※）ドライブ	CD-ROM（CD-R/RW）接続時

※カスタムメイドオプション

POINT

- スーパーディスクドライブ（カスタムメイドまたはオプション）をお使いになる場合は、使用環境によって、スーパーディスクドライブに割り当てられるドライブが変わります。また、CD-ROM ドライブのドライブが変わることがあります。

アプリケーションのアンインストール

留意事項

アプリケーションをアンインストールする場合は、次の点に気を付けてください。

- 起動中のアプリケーションをすべて終了してからアンインストールを始める
- DLL ファイルは削除しない

  DLL ファイルを削除すると、他のアプリケーションが正常に動作しなくなることがあります。アプリケーションのマニュアル、ヘルプ、または Readme.txt などの説明ファイルで、特に指示がない場合は DLL ファイルは削除しないことをお勧めします。

アンインストール方法

一般的に、次の方法があります。

- アンインストール機能を使用する

  アプリケーションにアンインストール機能が用意されている場合があります。
- 「アプリケーションの追加と削除」機能を使用する

  「コントロールパネル」ウィンドウの「アプリケーションの追加と削除」機能を使用してアプリケーションを削除できます。

アンインストール方法はアプリケーションによって異なります。詳細は各アプリケーションのマニュアル、ヘルプ、または Readme.txt などの説明ファイルをご覧ください。

第 2 章

快適にお使いいただくために

コンピュータウイルスや画面の設定方法などについて説明しています。

1 コンピュータウイルス対策 24
2 画面を設定する 27
3 内蔵モデムを設定する（モデム搭載モデルのみ） 34
4 省電力 36
5 ワイヤレスリンク 44

1　コンピュータウイルス対策

コンピュータウイルスはプログラムの 1 つで、なんらかの方法でコンピュータ内に読み込まれる（感染する）と、コンピュータウイルス自身で増殖し、大切なデータを壊したり、コンピュータを起動できなくしたりといった悪影響を及ぼします。

VirusScan

本パソコンにはウイルスを発見するためのソフトとして、VirusScan が添付されています。入手したフロッピーディスクや光磁気ディスクなどは、ウイルスチェックを行ったうえで使用してください。VirusScan の使用方法については、ヘルプをご覧ください。

VirusScan はご購入時にはインストールされていません。必要に応じてインストールしてください（••▶ P.58）。

留意事項

- 「VirusScan」を起動していると、アプリケーションを正常にインストールできなかったり、ご使用のアプリケーションによっては不具合が発生したりすることがあります。この場合は次のどちらかの方法で「VirusScan」を使用不可にしてください。
  - 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Network Associates」→「VirusScan コンソール」の順にクリックします。「VirusScan コンソール」ウィンドウで「VShield」をクリックし、「タスク」メニュー→「使用不可」の順にクリックします。
  - 「VirusScan」アイコンがタスクバーに表示されている場合は、そのアイコンを右クリックし、「使用可能」→「システムスキャン」の順にクリックし、チェックを外します。
- VirusScan でコンピュータウイルス検査を行っているときは、ハードディスクにあるプログラムを実行したり、検査中のフロッピーディスクを取り出したりしないでください。
- 本パソコンをフロッピーディスクから起動する場合、そのフロッピーディスクがコンピュータウイルスに感染していないかをチェックしてから使用してください。
- VirusScan は、コンピュータウイルスの情報を記載したデータファイル（DAT ファイル）と、検査プログラム（スキャンエンジン）を使用しています。DAT ファイルは次のサイトから無料でダウンロードできます。定期的に更新してください。

  http://www.nai.com/japan/

  スキャンエンジンを更新する場合は、最新版の VirusScan をご購入ください。

コンピュータウイルスを発見した場合

コンピュータウイルスを発見した場合は、被害届けを提出してください。

重 要

- **コンピュータウイルスに感染してしまい、本パソコンの修理が必要になった場合、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。ご了承ください。**

コンピュータウイルスの被害届け

コンピュータウイルスの届け出制度は、通商産業省の「コンピュータウイルス対策基準」（平成 2 年 4 月 10 日付通商産業省告示第 139 号／平成 9 年 9 月 24 日改訂通商産業省告示第 535 号）の規定に基づき、平成 2 年 4 月にスタートした制度です。コンピュータウイルスを発見した場合、コンピュータウイルス被害の拡大と再発を防ぐために必要な情報を、情報処理振興事業協会（IPA）に届け出ることとされています。届け出の書式は次ページのとおりです。

〒113-6591
東京都文京区本駒込2-28-8
情報処理振興事業協会
セキュリティセンター
ウイルス対策室　宛
TEL　03-5978-7509
FAX　03-5978-7518
E-mail　virus@ipa.go.jp

（届出書）
住所
会社・団体名
部署
氏名
TEL
FAX
E-mail

コンピュータウイルスの被害（感染・発病）について、下記のとおり届け出ます。

記

1. 発見場所（部署名または個人名）
2. ウイルス名称（内容）　（名称がわからない場合は症状を記載）
3. 発見年月日
　年　月　日
4. 感染機種
　機種　：富士通FMVシリーズ（IBM互換機）
　OS：　□ Windows95　□ Windows98　□ Windows Me　□ WindowsNT　□ Windows2000
　ネットワーク
　（チェックマークをつけてください。LAN接続以外は、スタンドアロンです）
　：□スタンドアロン（単体）　□LAN接続
5. 発見方法
　ワクチンなどによる定期検査を行っている　⇒頻度（毎日・毎週　回／　毎）
　発見方法（　）
　発見に利用したソフトウェア
　（□ VirusScan Ver.4.5 SR-1（日本ネットワークアソシエイツ株式会社））
　（□上記以外　⇒名称：　社名：　）
6. 推定される感染経路
　感染元
　□他人から譲渡（国内）　□電子メール（国内）
　□他人から譲渡（国外）　□電子メール（国外）
　□雑誌などの付録　□不明
　□パソコン通信（BBS）　□その他（　）
　□インターネット（ftp site, web site, NetNews）
　媒体
　□フロッピーディスク　□電子メール添付ファイル
　□CD-ROM　□その他（　）
　□ダウンロードファイル
7. 被害状況
　PC　台
　HD　台
　FD　枚
　その他
8. 回復処置
　回復方法（　）
　回復に利用したソフトウェア
　（□VirusScan Ver.4.5 SR-1（日本ネットワークアソシエイツ株式会社））
　（□上記以外　⇒名称：　社名：　）
　投入人日
　（　人・　日（0.5日単位で記述））

※ この届出はコンピュータウイルス対策基準（平成9年9月24日付通商産業省告示第535号）の規定に基づいています。届け出られた内容は被害の拡大及び再発の防止に活用しますが、記載されているプライバシーに関する情報を公表することはありません。

2　画面を設定する

ここでは、ディスプレイの解像度と色数を変更する方法と各機能について説明します。

解像度と色数

本パソコンでは、「画面のプロパティ」ダイアログボックスの「設定」タブで次の解像度、色数を選択／変更できます（次の設定以外はサポート外となります）。
なお、High Color は 65,536 色、True Color（24 ビット、32 ビット）は 16,777,216 色です。
また、CRT ディスプレイなどの外部ディスプレイの接続方法は『ハードウェアガイド』をご覧ください。

〔NA〕〔MR〕

<table>
<tr><th rowspan="2">解像度
（ピクセル）</th><th colspan="3">色数</th></tr>
<tr><th>液晶ディスプレイ</th><th>液晶ディスプレイ
＋
外部ディスプレイ※2</th><th>外部ディスプレイ※2※4</th></tr>
<tr><td>640 × 480
800 × 600
1024 × 768</td><td colspan="2">256 色
High Color（16 ビット）
True Color（32 ビット）※3</td><td rowspan="2">256 色
High Color（16 ビット）
True Color（32 ビット）</td></tr>
<tr><td>1280 × 1024
1600 × 1200</td><td colspan="2">256 色※1
High Color（16 ビット）※1
True Color（32 ビット）※1※3</td></tr>
</table>

※1：仮想スクリーンモードになります。仮想スクリーンモードでは、液晶ディスプレイサイズの範囲のみが表示され、他の領域はマウスポインタを動かすことによって表示できます。このとき、「モニタ」を解像度以上のサイズに設定する必要があります。

※2：〔NA〕ではテレビでも表示できます。テレビで表示するときに解像度を 1280 × 1024 以上に設定した場合は、仮想スクリーンモードになります。

※3：True Color 表示ではディザリング機能を使用して液晶ディスプレイに表示しています。

※4：プラグアンドプレイ対応の外部ディスプレイを使用の場合、最大解像度は外部ディスプレイからの情報により設定されます。

〔NU〕〔MF〕〔MC〕

解像度（ピクセル）	色数		
	液晶ディスプレイ	液晶ディスプレイ + 外部ディスプレイ	外部ディスプレイ※4
640 × 480 800 × 600	256 色 High Color（16 ビット） True Color（24 ビット）※3 True Color（32 ビット）※3		
1024 × 768	256 色※1 High Color（16 ビット）※1 True Color（24 ビット）※1※3 True Color（32 ビット）※1※3		256 色 High Color（16 ビット） True Color（24 ビット） True Color（32 ビット）
1280 × 1024	256 色※2 High Color（16 ビット）※2 True Color（24 ビット）※2※3		256 色 High Color（16 ビット） True Color（24 ビット）
1600 × 1200※5	256 色※2 High Color（16 ビット）※2		256 色 High Color（16 ビット）

※1：FMV-655NU8C/W、FMV-655MF8/W、〔MC〕では仮想スクリーンモードになります。仮想スクリーンモードでは、液晶ディスプレイサイズの範囲のみが表示され、他の領域はマウスポインタを動かすことによって表示できます。このとき、「モニタ」を解像度以上のサイズに設定する必要があります。

※2：仮想スクリーンモードになります。仮想スクリーンモードでは、液晶ディスプレイサイズの範囲のみが表示され、他の領域はマウスポインタを動かすことによって表示できます。このとき、「モニタ」を解像度以上のサイズに設定する必要があります。

※3：True Color 表示ではディザリング機能を使用して液晶ディスプレイに表示しています。

※4：プラグアンドプレイ対応の外部ディスプレイを使用の場合、最大解像度は外部ディスプレイからの情報により設定されます。

※5：〔MF〕〔MC〕ではサポートしていません。

テレビで表示できる解像度と色数〔NA〕

表示できる解像度と色数の組み合わせは以下のとおりです。
この解像度と色数以外には、設定しないでください。

解像度（ピクセル）	色数			
	液晶ディスプレイと外部ディスプレイとテレビで同時表示	液晶ディスプレイとテレビで同時表示	外部ディスプレイとテレビで同時表示	テレビで表示
640 × 480	256 色 High Color（16 ビット） True Color（32 ビット）※1		256 色 High Color（16 ビット） True Color（32 ビット）	256 色 High Color（16 ビット） True Color（32 ビット）
800 × 600	256 色 High Color（16 ビット） True Color（32 ビット）※1		256 色 High Color（16 ビット） True Color（32 ビット）	256 色 High Color（16 ビット） True Color（32 ビット）
1024 × 768	256 色 High Color（16 ビット） True Color（32 ビット）※1		256 色 High Color（16 ビット） True Color（32 ビット）	256 色 High Color（16 ビット） True Color（32 ビット）
1280 × 1024※2	256 色※2※3 High Color（16 ビット）※2※3 True Color（32 ビット）※1※2※3		256 色※3 High Color（16 ビット）※3 True Color（32 ビット）※4	256 色※3 High Color（16 ビット）※3 True Color（32 ビット）※3
1600 × 1200※2	256 色※2※3 High Color（16 ビット）※2※3 True Color（32 ビット）※1※2※5		256 色※3 High Color（16 ビット）※3 True Color（32 ビット）※1※4	256 色※3 High Color（16 ビット）※3 True Color（32 ビット）※3

※1：液晶ディスプレイでは、ディザリング機能（擬似的に色を表示する機能）によって、True Color に表示されます。

※2：1280 × 1024 以上に設定すると、液晶ディスプレイに 1024 × 768 の範囲のみが表示され、他の領域はマウスポインタを動かすことによって表示します。

※3：テレビ画面に 1024 × 768 の範囲のみが表示され、他の領域はマウスポインタを動かすことによって表示します。

※4：テレビ画面に 800 × 600 の範囲のみが表示され、他の領域はマウスポインタを動かすことによって表示します。

※5：テレビ画面に 640 × 480、外部ディスプレイには 1280 × 1024 の範囲のみが表示され、他の領域はマウスポインタを動かすことによって表示します。

留意事項

- 次の解像度を選択した場合は、【Fn】+【F5】キーで Windows の画面を通常表示または全画面表示に変更できます。
  - 〔NA〕〔MR〕、FMV-6700NU8/L、FMV-6600MF8/X、FMV-6600MF8/X1、FMV-6600MF8/X2：800 × 600 ピクセル以下
  - FMV-655NU8C/W、FMV-655MF8/W〔MC〕：640 × 480 ピクセル
- True Color 表示ではディザリング機能を使用して液晶ディスプレイに表示しています。
- DirectX を使用したアプリケーションの一部で、表示が乱れる場合があります。
- 外部ディスプレイとして CRT ディスプレイを接続した場合は、「画面のプロパティ」ダイアログボックスでリフレッシュレートを 85Hz 以上に設定できるように見えますが、実際の CRT ディスプレイの周波数は次のとおりです。
  - CRT ディスプレイのみの場合：
    1280 × 1024 ピクセル以下　60Hz ～ 85Hz
    〔NA〕〔MR〕1600 × 1200 ピクセル　60Hz ～ 75Hz
    〔NU〕1600 × 1200 ピクセル　60Hz
  - 同時表示の場合：60Hz
- Active Desktop を ON に設定し、色数を High Color（16 ビット）に設定した場合、ウィンドウの模様が正常に表示されないことがあります。この場合は、色数を High Color（16 ビット）以外に設定するか、Active Desktop を OFF に設定してください。
- タスクバーを上下左右に移動させると、壁紙を正常に表示できなくなることがあります。
- 液晶ディスプレイの解像度以上に解像度を設定する場合、あらかじめ次の手順を行ってください。なお、画面は仮想スクリーンモードで表示されます。
  1 デスクトップで右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
  2 「画面のプロパティ」ダイアログボックスの「設定」タブで「詳細」をクリックします。
  3 「モニタ」タブで「このモニタでは表示できないモードを隠す」のチェックを外します。

表示装置を切り換える

表示装置をあらかじめ取り付けてから（⋯▶『ハードウェアガイド』参照）、次の方法で切り換えを行ってください。

留意事項

- 表示装置の切り換えの設定は次のようになります。
  - Windows が起動していない場合は、BIOS セットアップの設定が有効です。
  - Windows が起動すると、表示されるディスプレイは、前回 Windows で使用していた状態になります。ただし、外部ディスプレイが接続されていない場合は、液晶ディスプレイに表示されます。
- 液晶ディスプレイよりも大きな解像度に設定して外部ディスプレイに表示させている場合、【Fn】+【F10】キーによる表示装置の切り換えはできません。液晶ディスプレイよりも小さな解像度に設定してから【Fn】+【F10】キーで切り換えてください。
- 液晶ディスプレイ+外部ディスプレイの同時表示を選択した場合、外部ディスプレイ画面は液晶ディスプレイ画面と同一の解像度になります。

- 解像度の切り換え時などに、一時的に表示画面が乱れることがありますが、故障ではありません。
- 同時表示時に、外部ディスプレイやテレビ（〔NA〕）の画面が正しく表示されないことがあります。
- 〔NA〕で DVD-VIDEO の映像をテレビに表示した場合、テレビの解像度が液晶ディスプレイや外部ディスプレイよりも低いため、「画面のプロパティ」で解像度を調整しても鮮明に表示できない場合があります。
- BIOS　セットアップの画面は、液晶ディスプレイのみで表示されることがあります。BIOSセットアップの画面も外部ディスプレイに表示したいときには、BIOSセットアップの「ディスプレイ」（••▶『ハードウェアガイド』参照）の項目を「外部ディスプレイ」または「同時表示」に設定してください。
- 外部ディスプレイまたは液晶プロジェクタによっては、液晶ディスプレイ+外部ディスプレイの同時表示時に、画面が正しく表示されないことがあります。
- 外部ディスプレイで液晶ディスプレイ以上の高解像度を利用するには、それらの解像度を表示可能な外部ディスプレイが必要です。
- 液晶プロジェクタを本パソコンの液晶ディスプレイと同時表示で使用する場合、本パソコンの液晶ディスプレイと同じ解像度を表示可能な液晶プロジェクタが必要です。
- 【Fn】+【F10】キーを押して表示装置を切り換えたあとに色数や解像度を変更すると、Windows 起動時の表示装置に自動的に切り換わります。再度、【Fn】+【F10】キーを押して表示装置を切り換えてください。
- 〔NA〕で、DVD やビデオ CD などの動画再生画面をテレビなどに表示する場合は、テレビのみに表示する設定にしてください。設定は、Windows2000 の「画面のプロパティ」ダイアログボックスで行います（••▶ P.32）。

キーボードを使用する場合

■ 液晶ディスプレイと外部ディスプレイの切り換え

【Fn】キーを押しながら【F10】キーを押すと、表示装置は次の順に切り換わります（このとき【F10】キーを、間隔を空けて押してください）。

液晶ディスプレイ → 外部ディスプレイ → 液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示 → 液晶ディスプレイ…

■ テレビに表示する 〔NA〕

【Fn】キーを押しながら【F11】キーを押すと、テレビに表示できます。テレビの表示をやめるにはもう 1 度キーを押します。

POINT

- **キーを押しても表示装置が切り換わらない場合は、「画面のプロパティ」ダイアログボックスで切り換えてください。**
- **テレビのみに表示する場合は「画面のプロパティ」ダイアログボックスで切り換えてください。キーボードでは切り換えられません。**

「画面のプロパティ」ダイアログボックスを使用する場合

1 デスクトップで右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

2 「画面のプロパティ」ダイアログボックスの「設定」タブで「詳細」をクリックします。

3 「ATI 画面」タブで表示装置を選択します。

POINT

- 表示装置の切り換えを行う場合は、次の手順に従って操作してください。
  - 液晶ディスプレイと外部ディスプレイとテレビ（〔NA〕）で同時に表示する
    1 緑色の をクリックして、「モニタ」と「パネル」と「テレビ」（〔NA〕）の を押された状態にします。
    2「モニタ」と「パネル」をプライマリに、「テレビ」（〔NA〕）をセカンダリ に設定します。
  - 液晶ディスプレイ、外部ディスプレイおよびテレビ（〔NA〕）のうち、いずれか 2 台を同時に表示する
    1 緑色の をクリックして表示するディスプレイの を押された状態にし、表示しないディスプレイの を押されてない状態にします。
    2「モニタ」と「パネル」をプライマリ に、「テレビ」をセカンダリ に設定します。
  - 液晶ディスプレイのみ、外部ディスプレイのみ、またはテレビのみ（〔NA〕）で表示する
    1 緑色の をクリックして、「モニタ」と「パネル」と「テレビ」（〔NA〕）の を押された状態にしてから、表示しないディスプレイの をクリックします。
    2 表示するディスプレイがセカンダリになっている場合はをクリックし、チェックを外します。

4 「OK」をクリックします。

全画面表示の設定

画面を通常表示または全画面表示に表示できます。液晶ディスプレイよりも小さな解像度に設定したときに、画面がディスプレイ中央に小さく表示または全画面表示されるようにするには、次の手順で設定を変更してください。

1 デスクトップで右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

2 「設定」タブをクリックし、「詳細」をクリックします。

3 「ATI 画面」タブをクリックします。

4 「パネル」をクリックします。
「パネルのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

5 「イメージをパネルサイズにする」の左側の または をクリックします。

- にすると、液晶ディスプレイよりも小さい解像度に設定した場合は、画面が液晶ディスプレイ中央に小さく表示されます。
- にすると、液晶ディスプレイよりも小さい解像度に設定した場合は、画面が液晶ディスプレイ全体に大きく表示されます。

6 「OK」をクリックし、すべてのダイアログボックスを閉じます。

3 内蔵モデムを設定する（モデム搭載モデルのみ）

ここでは、モデムの設定方法について説明します。

設定方法

1 「コントロールパネル」ウィンドウの「電話とモデムのオプション」アイコンをダブルクリックします。

「所在地情報」ダイアログボックスが表示されます。

2 各項目を入力し、「OK」をクリックします。

- 国名／地域名
- 市外局番／エリアコード
- 外線発信番号
- ダイヤル方法：トーンまたはパルス

「電話とモデムのオプション」ダイアログボックスが表示されます。

3 「新しい所在地」または「所在地情報」が選択されていることを確認し、「編集」をクリックします。

「所在地の編集」ダイアログボックスが表示されます。

4 各項目を入力し、「OK」をクリックします。

- 所在地：入力してください。
- 国／地域：日本
- 市外局番：使用する場所の市外局番（すでに番号が入力されている場合もありますが、使用する場所の情報を入力してください）
- 市内通話の場合の外線発信番号：0 などの外線につなぐための番号（必要な場合のみ）
- 市外通話の場合の外線発信番号：0 などの外線につなぐための番号（必要な場合のみ）
- キャッチホン機能を解除するための番号：チェックするとドロップダウンで選択
- ダイヤル方法：トーン（プッシュ回線の場合）またはパルス（ダイヤル回線の場合）

「電話とモデムのオプション」ダイアログボックスが表示されます。

5 「OK」をクリックします。

留意事項

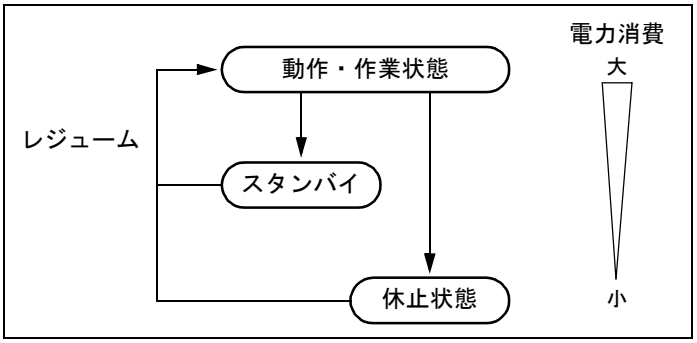
- 内蔵モデム経由でナンバーディスプレイ対応の電話番号に接続したとき、「184」「186」を付けてダイヤルすると正常に接続できない場合があります。「184」「186」と接続先の電話番号の間に「,（カンマ）」を入れてダイヤルしてください。
- 本パソコンでは、「携帯電話／ PHS/cdmaOne 接続用 USB ケーブル（FMV-CBL101/102/103/104）」を使用して、移動体通信ができます。「携帯電話／ PHS/cdmaOne 接続用 USB ケーブル（FMV-CBL101/102/103/104）」の取り扱い方法については、「ドライバーズ CD」の「¥W2k¥Cblmdm」フォルダにある Readme.txt をご覧ください。
  - 使用できる携帯電話／ PHS については、富士通パソコンホームページ FM WORLD（http://www.fmworld.net/）をご覧ください。
  - 別売のケーブルに「ドライバ CD」が添付されている場合がありますが、添付の CD は使用しないでください。

4 省電力

省電力について説明します。ご購入時には、バッテリで使っている場合に限り、一定時間パソコンを操作しないと自動的にディスプレイの表示を消したり、「スタンバイ」するよう設定されています。

スタンバイと休止状態

「スタンバイ」または「休止状態」を使用することにより、Windows を終了することなく節電することができます。



- **スタンバイ**
  メモリ内のプログラムやデータを、システム RAM（メモリ）に保持してパソコンの動作を一時停止させます。スタンバイ中は、状態表示 LCD の ⏻ が点滅します。「休止状態」よりも短い時間で、一時停止や再開（レジューム）が行えます。スタンバイ中は、わずかに電力を消費していて、電源は、AC アダプタを接続している場合は AC 電源から、接続していない場合はバッテリから供給されます。
- **休止状態**
  メモリ内のプログラムやデータを、ハードディスクに書き込んで保存し、パソコン本体の電源を切ります。電源を自動的に切るため、「スタンバイ」よりも一時停止／再開にかかる時間が長くなります。

留意事項

- パソコンをお使いの状況によっては、スタンバイや休止状態、レジュームに時間がかかる場合があります。
- スタンバイまたは休止状態にしたあと、すぐにレジュームしないでください。必ず、10 秒以上たってからレジュームするようにしてください。
- 接続している周辺機器のドライバが正しくインストールされていない場合、スタンバイや休止状態にならないことがあります。
- 本パソコンでは、低レベルのスタンバイ（ACPI S1）をサポートしておりません。お使いになる周辺機器が低レベルのスタンバイのみをサポートしている場合は、本パソコンをスタンバイや休止状態にしないでください。

- レジューム時に、画面に一瞬ノイズが発生する場合があります。
- 次の場合は、スタンバイや休止状態にしないでください。
  - OS の起動処理中または終了処理中
  - パソコンが何か処理をしている最中（プリンタ出力中など）、および処理完了直後
  - ハードディスク、フロッピーディスクまたはスーパーディスクにアクセス中
  - モデムで通信中
  - オートラン CD-ROM（セットすると自動で始まる CD-ROM）を使用中
  - ビデオ CD や DVD などを再生中
  - 音楽 CD やゲームソフトなどのサウンドを再生中
  - CD-R や CD-RW に書き込みまたは書き換え中
  - ドライバのインストールが必要な周辺機器を接続しているが、ドライバのインストールが終了していないとき
  - ネットワーク環境で TCP/IP プロトコル以外のプロトコルを使用している場合
  - 赤外線通信を使用中
- 周辺機器を取り付け／取り外しする場合は、スタンバイせず、パソコン本体の電源を切ってください。また、周辺機器によっては、パソコン本体の電源を切らなくても接続できるものもあります。
  『ハードウェアガイド』、または周辺機器に添付のマニュアルをご覧ください。
- 別売の LAN カード（弊社の FMV-J182A、FMV-J185 など）をお使いになる場合は、AC アダプタを接続し、「電源オプションのプロパティ」ダイアログボックスで「電源設定」タブの各項目を「なし」に設定してください。
- ネットワーク環境によっては、省電力機能を使用できない場合があります。

スタンバイ

スタンバイ（作業を一時停止する）

スタンバイには、次の方法があります。

■「Windows のシャットダウン」ダイアログボックスを使う

1 「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックします。
「Windows のシャットダウン」ダイアログボックスが表示されます。

2 「スタンバイ」を選択し、「OK」をクリックします。
しばらくすると状態表示 LCD の ⏻ が点滅し、液晶ディスプレイの表示が消えます。

■ SUS/RES スイッチを使う

1 状態表示 LCD（→『ハードウェアガイド』参照）に（ハードディスクアクセス表示）や（フロッピーディスクアクセス表示）が表示されていないことを確認し、SUS/RES スイッチを押します。

しばらくすると状態表示 LCD の⏻が点滅し、液晶ディスプレイの表示が消えます。

POINT

- SUS/RES スイッチは４秒以上押さないでください。SUS/RES スイッチを４秒以上押すと、本パソコンの電源が切れ、作成中のデータが失われることがあります。

■ 液晶ディスプレイを閉じる

1 状態表示 LCD（→『ハードウェアガイド』参照）に（ハードディスクアクセス表示）や（フロッピーディスクアクセス表示）が表示されていないことを確認し、液晶ディスプレイを閉じます。

POINT

- 「電源オプションのプロパティ」ダイアログボックスの「詳細設定」タブで「ポータブルコンピュータを閉じたとき」の項目を「なし」に設定すると、液晶ディスプレイを閉じたときにスタンバイしないように設定できます。ただし、〔MF〕〔MC〕では「なし」に設定した場合でも、本パソコン動作中は液晶ディスプレイを閉じたままにしないでください。放熱が妨げられ、故障の原因となります。
- スタンバイ状態になったことを示すピピッという音を確認してください（ボリュームを小さくしていると聞こえません）。また、ハードデイスクの音が止まったことを確認してください。スタンバイしないまま液晶ディスプレイを閉じると、放熱が妨げられ、故障の原因になります。
- 液晶ディスプレイを閉じてもスタンバイしない場合、液晶ディスプレイを開いて SUS/RES スイッチを押し、スタンバイしたことを確認してから液晶ディスプレイを閉じてください。

レジューム（作業を再開する）

レジュームには、次の方法があります。

■ SUS/RES スイッチを使う

液晶ディスプレイが開いているときに使用します。

1 状態表示 LCD の⏻が点滅していることを確認します。

2 SUS/RES スイッチを押します。

■ 液晶ディスプレイを開く

液晶ディスプレイが閉じているときに使用します。

■ モデム着信によるレジューム

通信アプリケーションによっては、通信アプリケーションを起動したままスタンバイしておくと、モデムへの着信によって自動的にレジュームさせることができます。
なお、モデム着信によるレジュームの設定をしているときはスタンバイ中に液晶ディスプレイを閉じないでください。レジューム後に放熱が妨げられ、故障の原因となります。

■ LAN 着信によるレジューム（Wakeup On LAN）

他のコンピュータから本パソコンにコンピュータ検索などが行われた場合などに、自動的にレジュームさせることができます。
各 LAN デバイスのプロパティにある「電源の管理」タブで次の項目を設定します（••▶ P.74）。

- このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を元に戻すことができるようにする
- 電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする

留意事項

- スタンバイ中にMAINスイッチをOFFにしないでください。作業中のデータがすべて失われてしまいます。
- バッテリを使っているときのスタンバイ可能な時間は、新品のバッテリを満充電した状態で、約 3 日です（〔NA〕〔MR〕では約 1 日になります）。
- スタンバイ時にはシステム RAM（メモリ）でのデータ保持のために電力を消費します。バッテリで使っている場合は、バッテリ残量に留意してください。スタンバイ中にバッテリが切れると、作業中のデータがすべて失われてしまいます。長時間お使いにならない場合は、データを保存してから Windows を終了させ、パソコン本体の電源を切ってください。
- モデム着信によるレジューム後は画面が表示されません。フラットポイント（マウス）を操作すると画面が表示されます。フラットポイントを操作しても画面が表示されない場合は、【Space】キーなどのキーを押してください。この操作をしても画面が表示されない場合は、状態表示 LCD の ㉀ が点滅していないか確認してください。点滅している場合にはスタンバイになっています。SUS/RES スイッチを押して、レジュームしてください。
- お使いになる PC カードによっては、バッテリで使っているときのスタンバイ可能な時間が短くなる場合があります
- 〔NU〕〔MF〕〔MC〕では、「Windows のシャットダウン」ダイアログボックスまたは SUS/RES スイッチでスタンバイしたあとは、液晶ディスプレイを開いてもレジュームしません。
- ネットワーク環境で LAN 着信によるレジューム（Wakeup on LAN）を設定すると、ホストコンピュータまたは他のコンピュータからのアクセスにより、スタンバイのコンピュータがレジュームする可能性があります。次の手順でタイマ値を設定することをお勧めします。
  1. Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
  2. 「コントロールパネル」ウィンドウの「電源オプション」アイコンをダブルクリックします。
     「電源オプションのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
  3. 「電源設定」タブの「システムスタンバイ」を「20 分後」以上に設定します。

POINT

- 設定値が 20 分より短いと、本パソコンがレジュームしてしまうことがあります。20 分以上の値に設定してください。

休止状態

休止状態にするには、「電源オプションのプロパティ」ダイアログボックスでの設定が必要です（••▶ P.42）。

休止状態（作業を一時停止する）

休止状態には、次の方法があります。

■「Windows のシャットダウン」ダイアログボックスを使う

1 「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックします。
「Windows のシャットダウン」ダイアログボックスが表示されます。

2 「休止状態」を選択し、「OK」をクリックします。
ハードディスクへの保存状態が画面に表示され、しばらくすると、電源が切れます。

■ SUS/RES スイッチを使う

1 状態表示LCDに（ハードディスクアクセス表示）や（フロッピーディスクアクセス表示）が表示されていないことを確認します。

2 SUS/RES スイッチを押します。
ハードディスクへの保存状態が画面に表示され、しばらくすると、電源が切れます。

■ 液晶ディスプレイを閉じる

1 状態表示LCDに（ハードディスクアクセス表示）や（フロッピーディスクアクセス表示）が表示されていないことを確認し、液晶ディスプレイを閉じます。
しばらくすると、電源が切れます。

POINT

- 「電源オプションのプロパティ」ダイアログボックスの「詳細設定」タブで「ポータブルコンピュータを閉じたとき」の項目を「なし」に設定すると、液晶ディスプレイを閉じたときにスタンバイしないように設定できます。ただし、〔MF〕〔MC〕では「なし」に設定した場合でも、本パソコン動作中は液晶ディスプレイを閉じたままにしないでください。放熱が妨げられ、故障の原因となります。
- 休止状態になったことを示すピピッという音を確認してください（ボリュームを小さくしていると聞こえません）。また、ハードデイスクの音が止まったことを確認してください。休止状態にならないまま液晶ディスプレイを閉じると、放熱が妨げられ、故障の原因になります。
- 液晶ディスプレイを閉じても休止状態にならない場合、液晶ディスプレイを開いてSUS/RES スイッチを押し、休止状態になったことを確認してから液晶ディスプレイを閉じてください。

レジュームする（作業を再開する）

レジュームには、次の方法があります。

POINT

- レジュームしないときは、MAIN スイッチが OFF の状態になっていることがあります。その場合には MAIN スイッチを ON の状態にしてください。ON の状態にすると、保存された作業状態をハードディスクから呼び出している画面が表示され、しばらくすると中断する前の画面が表示されます。

■ SUS/RES スイッチを使う

1 SUS/RES スイッチを押します。

保存された作業状態をハードディスクから呼び出している画面が表示されます。
しばらくすると、中断する前の画面が表示されます。

■ 液晶ディスプレイを開く

液晶ディスプレイが閉じているときに使用します。

■ LAN 着信によるレジューム（Wakeup On LAN）

他のコンピュータから本パソコンにコンピュータ検索などが行われた場合などに、自動的にレジュームさせることができます。
各 LAN デバイスのプロパティにある「電源の管理」タブで次の項目を設定します（••▶ P.74）。

- このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を元に戻すことができるようにする
- 電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする

留意事項

- 休止状態では、モデム着信によるレジュームは使用できません。
- ネットワーク環境で LAN 着信によるレジューム（Wakeup on LAN）を設定すると、ホストコンピュータまたは他のコンピュータからのアクセスにより、休止状態のコンピュータがレジュームする可能性があります。次の手順でタイマ値を設定することをお勧めします。
  1 Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
  2 「コントロールパネル」ウィンドウの「電源オプション」アイコンをダブルクリックします。
  「電源オプションのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
  3 「電源設定」タブの「システム休止状態」を「20 分後」以上に設定します。

  POINT

  - 設定値が 20 分より短いと、本パソコンがレジュームしてしまうことがあります。20 分以上の値に設定してください。

- PC カードやプリンタなどの周辺装置を接続した状態で休止状態にすると、レジューム時に周辺装置の情報が初期化されるため、中断する前の作業状態に戻らないことがあります。

省電力の設定

「電源オプションのプロパティ」での設定

Windows の「コントロールパネル」ウィンドウの「電源オプション」で、本パソコンの電源を管理することができます。

設定を変更する

■「電源設定」タブ

本パソコンの電源を入れた状態で一定時間使用しなかった場合に、節電機能が働くまでの時間を設定します。

スタンバイするまでの時間は「ポータブル／ラップトップの電源の設定」の「システムスタンバイ」で設定してください。

「休止状態」タブで休止状態を使うように選択した場合、休止状態までの時間は「システム休止状態」で設定してください。

■「アラーム」タブ

バッテリの残量が少なくなったときに Windows が出す警告に関する設定をします。

POINT

- **「電源レベルが次に達したらバッテリ切れアラームで知らせる」をクリックして☐にしないでください。バッテリが切れた状態で電源が切断されるため、作成中のデータが保存されません。また、パソコン本体が故障する原因となります。**

■「詳細」タブ

SUS/RES スイッチを押したときや液晶ディスプレイを閉じたときの、パソコン本体の動作状態を設定します（ご購入時には、Administrator でログインした場合、スタンバイするように設定されています）。

次のように設定できます。

- SUS/RES スイッチを押したときの状態：「コンピュータの電源ボタンを押したとき」
- 液晶ディスプレイを閉じたときの状態：「ポータブルコンピュータを閉じたとき」
- スタンバイから復帰するときにパスワードの入力を求めるメッセージを表示させる：「スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める」

重 要

- **〔MF〕〔MC〕で「ポータブルコンピュータを閉じたとき」の設定で移行したい状態に「なし」を選択した場合、本パソコンの動作中に液晶ディスプレイを閉じないでください。放熱が妨げられ、本パソコンが故障する原因となります。**

■「休止状態」タブ

本パソコンを一時停止するときに、メモリ内のデータなどの保存先をハードディスクに変更するかどうかを設定します。

「休止状態」タブの「休止状態をサポートする」をクリックして☑にする（ご購入時にはチェックされています）と、「詳細」タブの「電源ボタン」の各項目で「休止状態」が選択できるようになります。

■「Intel(R) SpeedStep(TM) テクノロジ」タブ（〔NA〕〔MR〕、FMV-6700NU8/L、FMV-6600MF8/X のみ）

本パソコンをバッテリで使っているとき、CPU クロックの周波数を落とすとともに、CPU 動作電圧を落とすことで節電するかどうかを設定します。
本パソコンを AC アダプタで使っているときと、バッテリで使っているときで別々に設定できます。
「バッテリに合わせたパフォーマンス」に設定した場合、消費電力が小さくなるので、バッテリ稼動時間が長くなります。

重 要

- タスクバーの（バッテリでお使いの場合は ）をダブルクリックしても設定画面（「Intel(R) SpeedStep(TM) テクノロジ」ダイアログボックス）が表示されます。
  「Intel(R) SpeedStep(TM) テクノロジ」ダイアログボックスと「電源オプションのプロパティ」ダイアログボックスは、同時に表示しないでください。
- BIOS セットアップの「Intel(R) SpeedStep(TM) テクノロジ」（▶『ハードウェアガイド』参照）の項目でも設定を変更できます。Intel SpeedStep の設定を変更すると、BIOS セットアップの設定も変更されます。

■「BATTERYAID（2/2）」タブ

画面（液晶ディスプレイ）の明るさを変更したり、CPU クロックを瞬間的に停止させることで節電するかどうかを設定します。
「画面の明るさ」は、本パソコンを AC アダプタで使っているときとバッテリで使っているときで、別々に設定できます。

- 【Fn】を押しながら、【F6】または【F7】を押しても、画面の明るさを調整できます。
- 電源に接続時の「CPU クロック」と「ハードディスク回転開始時の電力抑制」の項目は設定できません。

重 要

- ご購入時には AC アダプタで使っているときに画面が明るく、バッテリで使っているときは画面が暗くなるように設定されています。ご使用の環境に合わせて BATTERYAID で明るさを変更してください。

5 ワイヤレスリンク

ワイヤレスリンクとは、本パソコンの赤外線通信ポート（IrDA インターフェース）を使用して、赤外線通信機能（IrDA インターフェース）を持った他のパソコンと、ケーブルを接続することなくデータを転送できる機能です。

ワイヤレスリンクを行う場合は、互いのパソコンの赤外線通信ポート（IrDA インターフェース）を使用可能に設定し、赤外線通信ポート（IrDA インターフェース）が真正面に向き合うようにします。距離は 20 ～ 50cm の範囲内での使用をお勧めします。

留意事項

- ワイヤレスリンクを使用しているときは、赤外線通信ポート（IrDA インターフェース）に AC アダプタや外部ディスプレイを近づけないでください。誤動作の原因になります。
- 互いのパソコンの距離を離しすぎないでください。
- データ転送中は、互いのパソコンを動かさないでください。データ転送が切断される場合があります。
- 次の場合、正常にデータを転送できないことがあります。
  - ワイヤレスマウス添付モデル〔NA〕〔NU〕で、添付のワイヤレスマウスを赤外線通信ポート（IrDA インターフェース）に向けて操作した場合
  - 互いの赤外線通信ポート（IrDA インターフェース）が、真正面に向き合っていない場合
  - 互いの赤外線通信ポート（IrDA インターフェース）の距離が離れすぎていたり、間に遮断物がある場合
  - テレビ、ラジオなどのリモコンや、ワイヤレス・ヘッドホンなどが近くで動作している場合
  - 直射日光や、蛍光灯・白熱灯などの強い光が赤外線通信ポート（IrDA　インターフェース）に当たっている場合
  - 赤外線通信ポート（IrDA インターフェース）が汚れている場合

第3章

リカバリとインストール

本パソコンをご購入時の状態に戻す「リカバリ」とソフトウェアの「インストール」について説明しています。

1　リカバリ 46
2　ソフトウェアのインストール 53

1　リカバリ

Windows が起動しないなどの問題が発生した場合、またはハードディスクの領域を変更したい場合は、リカバリを行います。

リカバリの概要

リカバリとは、「リカバリ CD-ROM」と「リカバリ起動ディスク」（ポータブル CD-ROM ドライブをお使いの場合）を使用して、OS、ドライバなどのプレインストールソフトウェアをご購入時の状態（「プレインストール仕様」（••▶ P.16））に戻す操作です。

留意事項

- リカバリやハードディスクの領域の変更を行うと、C ドライブのファイルはすべて削除されます。必要に応じて事前にバックアップを行ってください。
- リカバリを行うと、C ドライブは FAT32 に設定されます。C ドライブを NTFS に変換していた場合は、リカバリ後再度 NTFS に変換してください（••▶ P.72）。
- 周辺機器を取り付けている場合は、それらをいったん取り外し、ご購入時の状態に戻してください。
- リカバリを終えてセットアップが終了するまで、LAN　ケーブルを接続しないでください。LAN ケーブルを接続してセットアップを行うと、エラーメッセージが表示されることがあります。
- ポータブル CD-ROM ドライブをお使いの場合は、「ポータブル CD-ROM ドライブを使用するための設定〔NA〕〔NU〕〔MR〕〔MF〕」（••▶ P.15）を行ってください。
- カスタムメイドオプションのアプリケーションはリカバリされません。
- 「ご購入時の状態に戻す（推奨）」以外を選択してリカバリを行った場合、リカバリしたあと、必ず D ドライブをフォーマットしてください。また、リカバリ前に必要なデータを必ずバックアップしてください。

重 要

- 〔NU〕〔MR〕〔MF〕〔MC〕で FDD ユニット（USB）をお使いの場合には、リカバリを行う前に、BIOS の設定を変更してください（••▶『ハードウェアガイド』参照）。
  - 「メイン」メニュー内
    フロッピーディスク A：使用しない
  - 「詳細」メニュー内
    その他の内蔵デバイス設定
    - フロッピーディスクコントローラ：使用しない

    USB 設定
    - USB フロッピーディスク：使用する

  なお、すべての作業を終えたら、必ず BIOS の設定を変更してください。
  - 「メイン」メニュー内
    フロッピーディスク A：144/1.2 MB 3.5"
  - 「詳細」メニュー内
    その他の内蔵デバイス設定
    - フロッピーディスクコントローラ：使用する

    USB 設定
    - USB フロッピーディスク：使用しない

リカバリの手順

リカバリは次の手順で行います。

1. 「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」のコピー（••▶ P.13）または作成（ポータブル CD-ROM ドライブをお使いの場合）（••▶ P.15）
2. リカバリ方法（••▶ P.48）
3. モデムドライバのインストール（モデム搭載モデル）（••▶ P.53）
4. ディスプレイドライバとタッチパネルドライバのインストール（〔MC〕タッチパネルモデル）（••▶ P.53）

リカバリ終了後

リカバリ後、必要に応じてソフトウェアをアンインストールしてください（••▶ P.22）。
また、必要に応じて添付アプリケーションやカスタムメイドのアプリケーションをインストールしてください（••▶ P.57）。

リカバリ方法

本パソコンをご購入時の状態に戻す「リカバリ」の手順を説明します。
次のものを用意してください。

- 「リカバリ CD-ROM 1/3 2/3」
- コピーまたは作成した「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」（ポータブル CD-ROM ドライブをお使いの場合）（••▶ P.13、P.15）

POINT

- リカバリを行うと、C ドライブのファイルはすべて削除されます。ご注意ください。
- リカバリを行う場合は、必ず AC アダプタを接続してください。

1 ポータブルCD-ROMドライブをお使いの場合は、本パソコンにCD-ROMドライブを接続します。

2 AC アダプタを接続し、本パソコンの電源を入れます。

3 BIOS の設定をご購入時の設定に戻します。

ご購入時の設定に戻すには、BIOS セットアップ（••▶『ハードウェアガイド』参照）の設定を標準設定値に戻し、次の設定を行ってください。

- 「メイン」メニュー内
  フロッピーディスク A
  （フロッピーディスクを使用する場合）：1.44/1.2MB 3.5"
  （〔MR〕〔MF〕〔MC〕で FDD ユニット（USB）を使用する場合）：使用しない
  （スーパーディスクドライブを使用する場合）：使用しない
- 「詳細」メニュー内
  プラグアンドプレイ対応 OS：いいえ
  キーボード／マウス設定
  - ホットプラグ：使用しない
    （〔NA〕〔NU〕の内蔵ポインティングデバイス非搭載モデル）
  - 内蔵ポインティングデバイス：常に使用する
    （〔NA〕〔NU〕のワイヤレスマウス添付モデル）
  - ワイヤレスマウス：使用する
    （〔NA〕〔NU〕のワイヤレスマウス添付モデル）

  その他の内蔵デバイス設定
  - フロッピーディスクコントローラ
    （フロッピーディスクを使用する場合）：使用する
    （〔MR〕〔MF〕〔MC〕で FDD ユニット（USB）を使用する場合）：使用しない
    （スーパーディスクドライブを使用する場合）：使用しない

  USB 設定
  - USB フロッピーディスク：使用する
    （〔MR〕〔MF〕〔MC〕で FDD ユニット（USB）を使用する場合）

・「省電力」メニュー内
　省電力モード：使用しない
BIOS セットアップの設定をご購入時と異なる設定に変更していると、リカバリ時にエラーメッセージが表示されることがあります。

4 次の操作を行います。

・内蔵 CD-ROM ドライブをお使いの場合
　「リカバリ CD-ROM 1/3」をセットします。
・ポータブル CD-ROM ドライブをお使いの場合
　「リカバリ CD-ROM 1/3」と「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」をセットします。

5 本パソコンを再起動します。

6 次の操作を行います。

・内蔵 CD-ROM ドライブをお使いの場合
　「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されたら、すぐに【F12】キーを押し続けます。
　「起動メニュー」または「Boot Menu」が表示されます。
　「起動メニュー」または「Boot Menu」が表示されない場合は、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押して本パソコンを再起動してください。
・ポータブル CD-ROM ドライブをお使いの場合
　手順 8 へ進みます。

7 CD-ROM ドライブを選択し、【Enter】キーを押します。
「リカバリ CD-ROM」画面が表示されます。

8 【Page Up】【Page Down】キー（〔MR〕〔MF〕〔MC〕は【Fn】+【↑】【↓】キー）で説明をスクロールして内容を確認し、【Y】キーを押します。

9 「ご購入時の状態に戻す（推奨）」が反転表示されていることを確認して【Enter】キーを押します。
確認の画面が表示されます。

POINT

▶ ハードディスクの領域を設定し直してリカバリしたい場合は、「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選択してください。画面を見ながら区画を任意に設定し、リカバリできます（••▶ P.51）。

10 【Y】キーを押します。
しばらくすると「NORTON Ghost™」の画面が表示され、ファイルのコピーが始まります。「Insert next media and press enter to continue...」と表示されたら、「リカバリ CD-ROM 2/3」をセットし、しばらくしてから【Enter】キーを押します。
リカバリが終了すると「復元作業が正常に終了しました。」と表示されます。

11 次の操作を行います。

- 内蔵 CD-ROM ドライブをお使いの場合
  CD-ROM を取り出してから、電源を切ります。
- ポータブル CD-ROM ドライブをお使いの場合
  フロッピーディスクと CD-ROM を取り出してから、電源を切ります。

12 周辺機器が取り付けられている場合は、すべて取り外します（カスタムメイドオプションを除く）。

重 要

▶ 〔NU〕〔MR〕〔MF〕〔MC〕で FDD ユニット（USB）をお使いの場合

1 FDD ユニット（USB）が取り外されているのを確認し、本パソコンの電源を入れます。
2 「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されたら、すぐに【F2】キーを押し続けます。
BIOS セットアップ画面が表示されます。

BIOS セットアップメニューに入れなかった場合は、再度【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押して本パソコンを再起動し、「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されたら、【F2】キーを押し続けます。

3 BIOS セットアップ画面に入ったら、次のように設定します（••▶『ハードウェアガイド』参照）。
- 「メイン」メニュー内
  フロッピーディスク A：1.44/1.2MB 3.5
- 「詳細」メニュー内
  その他の内蔵デバイス設定
  フロッピーディスクコントローラ：使用する
  USB 設定
  USB フロッピーディスク：使用しない

4 【F10】キーを押し、【Enter】キーを押します。
本パソコンが再起動します。
5 手順 13 に進みます。

13 以降、第 1 章を参照して操作してください（••▶ P.8）。

POINT

▶ Windows セットアップ後は、お使いのモデルに応じて次のドライバをインストールしてください（••▶ P.53）。
- モデム搭載モデル ：モデムドライバ
- 〔MC〕タッチパネルモデル ：タッチパネルドライバ

ハードディスクの領域を設定する

画面で確認しながら、1 つのハードディスクを 1 個または 2 個の領域に設定できます。指定できる容量は 100MB 単位になります。

POINT

- ハードディスクの領域の設定を行うと、C ドライブのファイルはすべて削除されます。ご注意ください。

1 「リカバリ CD-ROM」を起動し、リカバリメニューを表示します。

表示方法については、「リカバリ方法」（••▶ P.48）の手順 1 ～ 8 をご覧ください。

2 「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。

領域の設定方法により、ここからの操作は異なります。

3 領域の設定方法により、次の操作のどちらかを行ってください。

重 要

- 領域を変更すると、ハードディスク内のすべてのデータが失われます。

- 任意の領域を設定する　••▶ 手順 4 へ
- ご購入時の領域の状態に戻す　••▶ 手順 5 へ

4 「領域を任意に設定して戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。

【←】【→】キーを押すと、100MB 単位で、領域を設定することができます。
ハードディスク全体を C ドライブとして設定する場合は、【P】キーを押し、「ハードディスクを 1 つの区画として設定する」にチェックマークをつけます。
領域を設定したら、【Enter】キーを押し、手順 6 へ進みます。

5 「領域をご購入時の状態にして戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。

6 【Y】キーを押します。

領域の設定が行われ、再起動メッセージが表示されます。

7 【Enter】キーを押します。

本パソコンが再起動します。
ポータブル CD-ROM ドライブをお使いの場合は、C ドライブをフォーマットしたあと、ファイルのコピーが始まります。
手順 10 へ進んでください。

8 内蔵 CD-ROM ドライブをお使いの場合は、「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されたら、すぐに【F12】キーを押し続けます。

「起動メニュー」が表示されます。
「起動メニュー」が表示されない場合は、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押して本パソコンを再起動してください。

9 CD-ROM ドライブを選択し、【Enter】キーを押します。

C ドライブをフォーマットしたあと、ファイルのコピーが始まります。

10 「Insert next media and press enter to continue...」と表示されたら、「リカバリ CD-ROM 2/3」をセットし、しばらくしてから【Enter】キーを押します。

ファイルのコピーが終了すると、「復元作業が正常に終了しました。」と表示されます。

11 このあとは、「リカバリ方法」の手順 11（••▶ P.50）へ進んでください。

POINT

- Windows セットアップ後は、お使いのモデルに応じて次のドライバをインストールしてください（••▶ P.53）。
  - モデム搭載モデル ：モデムドライバ
  - 〔MC〕タッチパネルモデル ：タッチパネルドライバ

2 ソフトウェアのインストール

一部のドライバおよびアプリケーションのインストール方法を説明します。

重 要

- 添付の「ドライバーズ CD」には、機種によっては使用できないソフトウェアも含まれています。本書を参照し、正しいソフトウェアを使用してください。誤ったソフトウェアをインストールした場合、本パソコンが正しく動作しなくなり、リカバリが必要となることがあります。
  なお、「ドライバーズ CD」の Indexcd.htm もご覧ください。

ドライバのインストール

重 要

- すでにインストールされているドライバについては、特に問題がない限りインストールしないでください。

ドライバのインストールは、それぞれのドライバのインストール手順をご覧ください。
インストール手順は「ドライバーズ CD」内の次の表の場所にあります。

ドライバ	機種	Readme.txt の保存場所
ディスプレイドライバ	〔NA〕〔MR〕	¥W2k¥ATIM4¥Readme.txt
	〔NU〕〔MF〕〔MC〕	¥W2k¥ATIDsp¥Readme.txt
サウンドドライバ	〔NA〕〔MR〕	¥W2k¥ACAudio¥readme.txt
	〔MF〕	¥W2k¥YMAudio¥readme.txt
	〔MC〕	¥W2k¥MXAudio¥readme.txt
LAN ドライバ	LAN 搭載モデル	¥W2k¥LANDrv¥README.TXT
タッチパネルドライバ	〔MC〕タッチパネルモデル	¥W2k¥Tpanel¥readme.txt
モデムドライバ	〔NU〕モデム搭載モデル	¥W2k¥LBModem¥readme.txt
	〔NA〕〔MR〕〔MF〕〔MC〕モデム搭載モデル	¥W2k¥LTModem¥readme.txt
GlidePoint のドライバ	〔NA〕〔NU〕〔MR〕〔MF〕	¥W2k¥Alps¥readme.txt

この表以外のドライバについては、「ドライバーズ CD」内の「Indexcd.htm」で該当するドライバのフォルダ名称を確認し、フォルダ内の Readme.txt をご覧ください。
なお、〔NU〕のサウンドドライバのインストール手順については、「こんなときには」（◦◦▶ P.64）をご覧ください。

プレインストールソフトのインストール

ここでは、ご購入時にインストールされているソフトウェアのインストール方法について記述しています。アンインストールしたソフトウェアを再度インストールする場合のみ、次の方法でインストールしてください。

POINT

- カスタムメイドオプションのアプリケーションをインストールする方法は、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

Windows2000 Service Pack1 のインストール

1. Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
2. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
3. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
   C:¥support¥sp¥sp1network.exe
4. 「使用許諾」を読み、「同意します」をクリックし、「次へ」をクリックします。

このあとは、メッセージに従ってインストールを完了してください。

POINT

- Windows2000 のバージョン情報は、次の手順で見ることができます。
  1「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
  2「ヘルプ」メニュー→「バージョン情報」の順にクリックします。

BATTERYAID のインストール

1. 「ドライバーズ CD」をセットします。
2. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
3. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
   [CD-ROMドライブ]:¥w2k¥battery¥batteryaid¥setup.exe
4. 「次へ」をクリックします。

このあとは、メッセージに従って操作します。

Intel SpeedStep のインストール（〔NA〕〔MR〕、FMV-6700NU8/L、FMV-6600MF8/X）

1 「リカバリ CD-ROM 1/3」をセットします。

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROMドライブ]:¥sstep¥setup.exe

「ようこそ」ダイアログボックスが表示されます。

4 「次へ」をクリックします。

「製品ライセンス契約」ダイアログボックスが表示されます。

5 「はい」をクリックします。

「セットアップの完了」ダイアログボックスが表示されます。

6 「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」をクリックし、「完了」をクリックします。

Windows 環境調査ツール（FM Advisor）のインストール

1 Administrators グループのメンバーとしてログオンします。

2 「ドライバーズ CD」をセットします。

3 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

4 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROMドライブ]:¥w2k¥fmadv¥advisor¥setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

Acrobat Reader のインストール

1. 「ドライバーズ CD」をセットします。
2. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
3. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
   [CD-ROMドライブ]:¥w2k¥ac¥acrobat¥ar405jpn.exe
4. 「次へ」を 2 回クリックします。
5. 「情報」で「OK」をクリックします。
6. 本パソコンを再起動します。

FMV 診断のインストール

1. Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
2. 「ドライバーズ CD」をセットします。
3. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
4. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
   [CD-ROMドライブ]:¥w2k¥fmvdiag¥fmv503b¥disk1¥setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

POINT

- インストール後、「スタート」メニューに「FMV 診断」が登録されない場合があります。この場合は、「C:¥Fjuty¥Fmvdiag¥Fmvdiag.exe」を直接起動するか、ショートカットを作成してください。

Encryption Pack のインストール

1. Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
2. 「リカバリ CD-ROM 3/3」をセットします。
3. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
4. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
   [CD-ROMドライブ]:¥encrpack¥encpack.exe

このあとは、メッセージに従って操作してください。

添付ソフトのインストール

セキュリティボタンのインストール〔NA〕〔MR〕〔MF〕〔MC〕

1. Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
2. 「ドライバーズ CD」をセットします。
3. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
4. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

   [CD-ROMドライブ]:¥w2k¥sec¥user¥setup.exe

POINT

- 管理者用のセキュリティボタンをインストールする場合は、次のように入力してください。

  [CD-ROM ドライブ]:¥w2k¥sec¥supervisor¥setups.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。
使い方については『セキュリティボタン取扱説明書』をご覧ください。

ワンタッチボタン設定のインストール〔NA〕〔MR〕〔MF〕〔MC〕

1. Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
2. 「ドライバーズ CD」をセットします。
3. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
4. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

   [CD-ROMドライブ]:¥w2k¥qtouch¥setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。
使い方についてはヘルプをご覧ください。あわせて留意事項（••▶ P.76）もご覧ください。

POINT

- ワンタッチボタンは、OS 起動中のみ使用できます。

VirusScan のインストール

1. Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
2. 「ドライバーズ CD」をセットします。
3. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
4. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

   [CD-ROM ドライブ]:¥w2k¥vsnt¥setup.exe

インストールが始まります。次の POINT を参照し、メッセージに従って操作してください。

POINT

- 「サービスアカウント情報」ダイアログボックスでは、Administrators グループの「ユーザー名」とその「パスワード」を入力してください。

FM モバイルスイッチャーのインストール

1. 「ドライバーズ CD」をセットします。
2. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
3. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

   [CD-ROM ドライブ]:¥w2k¥mobswch¥setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

FMKEEPER のインストール

インストール手順については、「ドライバーズ CD」内の「¥Update¥Etc¥Fmkeeper¥Readme.txt」をご覧ください。

重 要

- Portables Suite をお使いになる場合
  NoteDock と併用すると FMKEEPER 上でマルチベイユニットの情報が正しく表示されません。FMKEEPER をお使いになる場合はホットスワップ機能およびウォームスワップ機能を次の操作を行い、無効に設定してください。
  1 タスクバーの「NoteDock」アイコンを右クリックし「開く」をクリックします。
  2「ベイ設定」をクリックし「ベイデバイスのホットスワップ機能（H）を有効にします」のチェックボックスをクリックしてチェックを外します。
  3 本パソコンを再起動します。

10 円メールマスターのインストール

1 「ドライバーズ CD」をセットします。

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROMドライブ]:¥w2k¥10mail¥10mail¥setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

FM-Menu のインストール

1 Administrators グループのメンバーとしてログオンします。

2 「ドライバーズ CD」をセットします。

3 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

4 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROMドライブ]:¥w2k¥fmmenu¥setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

光磁気ディスク・ユーティリティのインストール

1 Administrators グループのメンバーとしてログオンします。

2 「ドライバーズ CD」をセットします。

3 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

4 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROMドライブ]:¥w2k¥moformat¥moformat.msi

このあとは、メッセージに従って操作します。

はじめよう！インターネット（@nifty）のインストール

1 「ドライバーズ CD」をセットします。

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROMドライブ]:¥w2k¥niftysgn¥niftysgn¥setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

NIFTY MANAGER のインストール

1. Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
2. 「ドライバーズ CD」をセットします。
3. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
4. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

   [CD-ROMドライブ]:¥w2k¥nifty¥niftynim¥setup.exe

インストールが始まります。次の POINT を参照し、メッセージに従って操作してください。

POINT

- 「NIFTY MANAGER for Windows3.1 をインストール済みの場合その ID、アクセスポイント等を引き継ぐことが可能です。」と表示されたら、「いいえ」をクリックしてください。

第4章

困ったときに

4

おかしいなと思ったときや、わからないことがあったときの対処方法について説明しています。

1　こんなときには 62
2　それでも解決できないときは 68

1　こんなときには

ここでは、Windows の使用時に直面する問題について、Q&A 形式でまとめています。また、トラブルが発生したときや困ったときの参照先を説明しています。

トラブル発生時の参照先

Windows に関して

添付の Windows のマニュアルか、「スタート」メニューに登録されているオンラインヘルプをご覧ください。

ハードウェアに関して

『ハードウェアガイド』をご覧ください。

トラブルシューティング

Q　プログラムが動かなくなってしまった

A
1 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。
「Windows のセキュリティ」ウィンドウが表示されます。
2 「タスクマネージャ」をクリックします。
「Windows タスクマネージャ」ダイアログボックスが表示されます。
3 動かなくなったプログラムを選択し、「タスクの終了」をクリックします。
プログラムが強制終了されます。
4 「Windows タスクマネージャ」ダイアログボックスを閉じます。

POINT

- プログラムを強制終了した場合、プログラムでの作業内容を保存することはできません。
- プログラムを強制終了した場合は、次の手順でディスクをチェックすることをお勧めします。
  1 実行中のプログラムをすべて終了します。
  2 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
  3 プログラムをインストールしてあるディスクを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
  4 「ツール」タブをクリックし、「エラーチェック」の「チェックする」をクリックします。
  5 「チェックディスクのオプション」内の項目をチェックし、「開始」をクリックします。
  「ファイルシステムエラーを自動的に修復する」をチェックし、C ドライブを検査する場合は、「次回のシステム再起動時に、このディスクの検査をスケジュールしますか？」と表示されます。「はい」をクリックすると、次回 Windows 起動時にエラーのチェックが行われます。それ以外の場合は、ディスクのチェックが開始されます。終了すると「ディスクの検査が完了しました。」と表示されます。
  6 「OK」をクリックします。

Q　ポインティングデバイスが使えないため、Windows を終了できない

A　キーボードを使って Windows を終了できます。

1【Windows】キーまたは【Ctrl】+【Esc】キーを押します。
「スタート」メニューが表示されます。
2【↑】【↓】キーで「シャットダウン」を選択し、【Enter】キーを押します。
「Windows のシャットダウン」ダイアログボックスが表示されます。
3【↑】【↓】キーで「シャットダウン」を選択し、【Enter】キーを押します。
Windows が終了します。

ポインティングデバイスが故障している場合は、弊社パーソナルエコーセンターまたはご購入元に連絡してください。

Q　ディスプレイドライバ、サウンドドライバ、LAN ドライバ、およびタッチパネルドライバ（〔MC〕タッチパネルモデル）が正しく動作しない

A1　Windows が起動されないときは、Safe モードで起動してから、ドライバをインストールしてください。

手順は次のとおりです。
1 本パソコンの電源を入れます。
2「Windows を起動しています ...」と表示されたら、【F8】キーを押します。
「Windows 2000 拡張オプションメニュー」が表示されます。
3「セーフモード」を選択し、【Enter】キーを押します。
4 オペレーティングシステムを選択し、【Enter】キーを押します。
5 Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
「Windows はセーフモードで実行されています。」と表示されます。
6「OK」をクリックします。

A2　各ドライバをインストールし直す必要があります。

お使いの機種に対応する各ドライバは、「デバイス一覧」（••▶ P.19）でご確認ください。インストール方法については、「ドライバのインストール」（••▶ P.53）で該当するドライバのフォルダ名称を確認し、フォルダ内の Readme.txt をご覧ください。

A3　〔NU〕のサウンドドライバのインストール手順は次のとおりです。

1 Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
2「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
3「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。
4「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ」の「YAMAHA Legacy DS1 WDM Driver」を選択します。
5「操作」メニュー→「削除」の順にクリックします。
「デバイスの削除の確認」ダイアログボックスが表示されます。
6「OK」をクリックします。
7「YAMAHA Native DS1 WDM Driver」を選択します。
8「操作」メニュー→「削除」の順にクリックします。
「デバイスの削除の確認」ダイアログボックスが表示されます。
9「OK」をクリックします。
10「デバイスマネージャ」ダイアログボックスを閉じます。
11「システムのプロパティ」ダイアログボックスで「OK」クリックします。
12 本パソコンを再起動します。
13 Administrators グループでログオンします。
しばらくすると「新しいハードウェアが見つかりました」と表示され、自動的にドライバがインストールされます。

Q　PC カードが使えない

A1　PC カードのドライバはインストールされていますか？

Windows2000 にあらかじめ登録されていない PC カードの場合は、PC カードに添付されているドライバ（Windows2000 対応のもの）をインストールする必要があります。PC カードに添付のマニュアルをご覧ください。

A2　IRQ リソースは足りていますか？

IRQ リソースが不足する場合があります。次の操作を行ってください。

1 Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
2「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
3「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。
「デバイスマネージャ」ウィンドウが表示されます。
4 お使いにならないデバイス（プリンタなら「ポート（COM と LPT)」など）をダブルクリックします。
5 お使いにならないデバイス名（プリンタなら「プリンタポート（LPT1)」）を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
6「全般」タブの「デバイスの使用状況」を「このデバイスを使わない（無効）」に設定します。
7「OK」をクリックします。
8 すべてのダイアログボックスを閉じます。

Q　アプリケーションのインストールが正常に行われない

A　ウイルス検索ソフトを起動している場合、その影響が考えられます。
ウイルス検索ソフトを終了させ、アプリケーションのインストールができるか試してください。
ウイルス検索ソフトを終了させてもインストールが正常に行われないときは、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

Q　オンラインヘルプやエラーメッセージの対処方法を参照しても原因がわからない

A　本パソコンでは、次のパソコン診断アプリケーションを用意しています。

A1　Windows 環境調査ツール（FM Advisor）

FM Advisor の使用方法は、次のとおりです。

1「スタート」ボタン→「プログラム」→「FM Advisor」→「FM Advisor」の順にクリックします。
調査結果が表示されます。

A2　FMV 診断

FMV 診断の使用方法は次のとおりです。

1「スタート」ボタン→「FMV 診断」の順にクリックします。
このあとはメッセージに従って操作してください。

POINT

- 起動中のアプリケーションや常駐プログラムはすべて終了してください。
- スクリーンセーバーは「なし」に設定してください。
- フロッピーディスクドライブを診断する場合は、フォーマット済みのフロッピーディスクをセットしてください。
- CD-ROM ドライブを診断する場合は、お手持ちの CD-ROM をセットしてください。

Q　光磁気ディスクを使用したい

A　PC カード（SCSI）接続の光磁気ディスクドライブを使用できます。

Q　光磁気ディスクドライブをスーパーフロッピー形式で使用したい

A　光磁気ディスクドライブの設定は必要ありません。光磁気ディスクをスーパーフロッピー形式でフォーマットするには、本パソコンに添付の「光磁気ディスク・ユーティリティ」をインストールしてください（▶ P.59）。
なお、光磁気ディスク・ユーティリティの使用方法については、「ドライバーズ CD」の「¥W2k¥Moformat¥Readme.txt」をご覧ください。

Q　キーボードの NumLock がオンの状態で、Windows を起動したい

A　Windows 上で【NumLock】キーを押し、NumLock をオンにします。次回起動時からは、NumLock がオンの状態で Windows が起動されます。

Q Windows95 や MS-DOS のように、パソコン同士をシリアルケーブルで接続してデータをやりとりしたい

A RAS（Remote Access Service）の機能を使うことによって、シリアルケーブル接続でデータをやりとりできます。

1 Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
2「コントロールパネル」ウィンドウの「電話とモデムのオプション」アイコンをダブルクリックします。
3 所在地情報を入力するダイアログボックスが表示された場合は、所在地の設定を行い「OK」をクリックします。
「電話とモデムのオプション」ダイアログボックスが表示されます。
4「モデム」タブをクリックし、「追加」をクリックします。
「ハードウェアの追加と削除」ダイアログボックスが表示されます。
5「モデムを一覧から選択するので検出しない」をチェックし、「次へ」をクリックします。
6「製造元」から「(標準モデムの種類)」を、「モデル」から「2 台のコンピュータ間の通信ケーブル」を選択し、「次へ」をクリックします。
7「選択したポート」をクリックし、表示されている COMn（n には数字が表示されています）をクリックして、「次へ」をクリックします。
8「完了」をクリックします。
9「電話とモデムのオプション」ダイアログボックスで「OK」をクリックします。

Q ログオン時のパスワードに、大文字、小文字の区別はありますか？

A あります。

Q 自動ログオン（パスワード入力なしでログオンすること）に設定したい

A Windows セットアップ時に「ユーザーはこのコンピュータを使用するとき、ユーザー名とパスワードを入力する必要がある」を選択した場合は、ログオン時に「Windows へログオン」ダイアログボックスが表示され、パスワードの入力を求められます。次の手順で自動ログオンが可能になります。なお、自動ログオンは、本パソコンがネットワーク上にないか、ドメインのないネットワークに接続している場合に設定できます。

1 Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
2「コントロールパネル」ウィンドウの「ユーザーとパスワード」アイコンをダブルクリックします。
「ユーザーとパスワード」ダイアログボックスが表示されます。
3 自動ログオンするユーザー名をクリックし、「このコンピュータを使うには、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります」のチェックを外します。
4「OK」をクリックします。
「自動ログオン」ダイアログボックスが表示されます。
5「パスワード」と「パスワードの確認入力」にパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

POINT

- 自動ログオン機能を使用した場合、正規ユーザー以外が本パソコンを使用したり、ネットワークにログインしたりすることが可能になります。セキュリティ上の問題が発生する場合、自動ログオン機能を使用しないでください。
- ネットワーク環境で自動ログオン機能を使用する場合、起動時にサーバーに接続できない場合があります。この場合は、サーバーへの再接続を行ってください。

Q　WindowsNT のように【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押してからログオンしたい

A　次の手順で設定してください。

1 Administrators グループのメンバーとしてログオンします。

2「コントロールパネル」ウィンドウの「ユーザーとパスワード」アイコンをダブルクリックします。
「ユーザーとパスワード」ダイアログボックスが表示されます。

3「詳細」タブをクリックします。

4「ブート時のセキュリティ設定」の「ユーザーがログオンする前には必ず Ctrl+Alt+Del キーを押す」をチェックし、「OK」をクリックします。

POINT

- 自動ログオン機能を有効にしている場合は自動ログオン機能が優先されるため、電源を入れたときや再起動したときには、キー入力は求められません。スタンバイや休止状態からの復帰時にのみキー入力を求められます。

Q　マウスポインタのデザインを変えたい

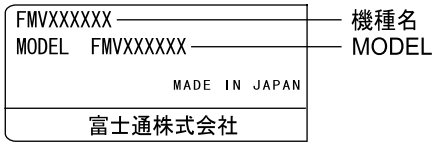
A　「コントロールパネル」ウィンドウの「マウス」アイコンをダブルクリックし、「ポインタ」タブで設定してください。

2 それでも解決できないときは

下記の連絡先へお問い合わせください。なお、お問い合わせ前に機種名と MODEL を確認し、「お問い合わせ前の確認シート」（••▶ P.70）に環境とトラブル状況などを記入してください。

機種名と MODEL の表記場所

パソコン本体下面のラベルに記載されています。



連絡先

こんなときには	こちらへ
添付品の不備	ご購入元
故障かなと思われたとき	弊社パーソナルエコーセンター※またはご購入元
FM シリーズの技術的なご質問・ご相談	FM インフォメーションサービス※
本パソコンにインストールされているソフトウェアのお問い合わせ	「お問い合わせ一覧」（••▶ P.69）

※：パーソナルエコーセンターと FM インフォメーションサービスの連絡先は、添付の『修理サービス網一覧表』をご覧ください。

情報サービス

また、次の方法で情報サービスを行っております。

富士通パソコン FAX サービス （カタログ、Q&A 情報）	043-299-3642（千葉） 06-6949-3270（大阪）
インターネット （製品の技術情報、Q&A 情報）	富士通パソコンホームページ FM WORLD http://www.fmworld.net/
FM シリーズの音声による Q&A 情報	FM インフォメーションテレホンガイド 0120-89-2235

お問い合わせ一覧

本パソコンに添付されているソフトウェアの内容については、次の連絡先にお問い合わせください。なお、記載の情報は、2000 年 11 月現在のものです。電話番号などが変更されている場合は、FM インフォメーションサービスへお問い合わせください。

- **はじめよう！インターネット（@nifty）**
  - 入会／ @nifty サービス全般
    ニフティ株式会社 @nifty サービスセンター
    9:00 ～ 21:00（指定の休日を除く）
    電話：0120-816-042
    （携帯・PHS・海外の場合：03-5444-2902）
    E-mail：feedback@nifty.com
    URL：http://www.nifty.com/support/madoguchi/index.htm
  - パスワード再発行／各種手続き／解約
    ニフティ株式会社 @nifty カスタマーセンター
    9:00 ～ 21:00（指定の休日を除く）
    電話：0120-842-210
    （携帯・PHS・海外の場合：03-5471-5806）
    E-mail：feedback@nifty.com
- **NIFTY MANAGER for Windows Version 5.12**
  ニフティマネジャーでの接続や操作方法について
  ニフティ株式会社 ニフティマネジャー
  サポートセンター
  9:00 ～ 21:00（指定の休日を除く）
  電話：0120-326-526
  （携帯・PHS・海外の場合：03-5471-5806）
  E-mail：feedback@nifty.com
- **NIFTY MANAGER サポートフォーラム**
  （GO NIMSUP/nifty:NIMSUP）
- **NIFTY SERVE（パソコン通信サービス）の利用に関して**
  ニフティ株式会社 パソコン通信サポートセンター
  9:00 ～ 21:00（指定の休日を除く）
  電話：0120-22-1200
  （携帯・PHS・海外の場合：03-5471-5806）
  E-mail：feedback@nifty.com
- **10 円メールマスター Ver.2**
  ゼロ株式会社 会員サポートダイヤル
  10:00 ～ 17:00（土日、祝祭日を除く）
  電話：0120-526-900、03-5381-4500
  FAX：03-5381-4511
  E-mail：support@mnx.ne.jp
  URL：http://www.masternet.or.jp/
- **VirusScan Ver.4.5**
  日本ネットワークアソシエイツ株式会社
  テクニカルサポートセンター
  9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00（土日、祝祭日を除く）
  電話：03-3379-7770
  URL：http://www.nai.com/japan/
- **Adobe Acrobat Reader4.05**
  ソフトウェア提供会社様より無償で提供されている製品のため、ユーザーサポートはございません。ご了承ください。
- **アプリケーション（カスタムメイドオプション）**
  各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。
- **その他　FM シリーズの技術的なご質問・ご相談**
  FM インフォメーションサービス
  （添付の『修理サービス網一覧表』をご覧ください）

本ソフトウェア製品の中には第三者のソフトウェア製品が含まれています。お客様の本ソフトウェア製品の使用開始については、お客様が弊社の「ご使用条件」に同意された時点とし、第三者のソフトウェア製品についても同時に使用開始とさせていただきます。
なお、第三者のソフトウェアについては、製品の中に特に記載された契約条件がある場合には、その契約条件にしたがい取り扱われるものとします。

お問い合わせ前の確認シート

お客様の環境

お使いのパソコンの機種は？	機種名：FMV	
	MODEL：FMV	
	購入日：	購入店：

メモリの容量は？	本体標準：　　MB	
	増設：　　MB	［メーカー：　　］ ［型番：　　］

	種類	型番号	メーカー
増設した周辺機器は？			

	ソフトウェア名	バージョン／レベル	メーカー
お使いのソフトウェアは？	Windows 2000 Professional	5.00.2195（Service Pack 1　）	―

トラブル状況

トラブルの内容は？	
何をしているときに起こりましたか？	
エラーメッセージは表示されましたか？その内容は何ですか？	
以前は問題なく動作していましたか？	・ 以前は動作した ・ 今回初めて試した ・ 以前から動作しない

第 5 章

技術情報

お使いになるうえでの留意事項を説明しています。

1　ファイルシステムの変換 72
2　その他の留意事項 73

1　ファイルシステムの変換

本パソコンのハードディスク上のシステムドライブは、FAT32 ファイルシステムでフォーマットされています。
FAT32 から NTFS に変換することで、セキュリティや信頼性を強化できます。
ファイルシステムを NTFS に変換する方法は、次のとおりです。

POINT

- NTFS に変換した場合、WindowsNT 4.0、Windows2000 以外のオペレーティングシステムからは、そのパーティションのファイルにアクセスできなくなります。

	WindowsNT 4.0		Windows2000	Windows 98/Me	Windows95 OSR2 以降
	Service Pack4 以降	Service Pack3 以前			
WindowsNT の NTFS	○	○	○	×	×
Windows2000 の NTFS	○	×	○	×	×
FAT32	×	×	○	○	○
FAT16	○	○	○	○	○

- NTFS区画のドライブに対してchkdsk.exeを実行しないでください。問題が発生することがあります。
- すでに作成されているショートカットから、アプリケーションが起動できなくなる場合があります。このときは、ショートカットを削除し、再度作成してください。

1 Administrators グループのメンバーとしてログオンします。

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。
「コマンドプロンプト」ウィンドウが表示されます。

3 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
convert  n:  /fs:ntfs  /v
```

(n には、ファイルシステムを変換するドライブ名を指定します)
ブートパーティションを変換する場合は、次のメッセージが表示されます（ブートパーティションが C ドライブの場合)。

「ファイルシステムの種類は FAT です。
CONVERT で C: ドライブへの排他的アクセスを実行できないため、現時点では変換できません。次回のシステム再起動時にドライブの変換をスケジュールしますか (Y/N)?」

4 【Y】キーを押し、【Enter】キーを押したあと、Windows を再起動します。
このとき、Windows は 2 回再起動します。

2 その他の留意事項

本パソコンをお使いになるうえでの留意事項を記載しています。

Windows2000 の CD-ROM を要求された場合

ドライバのインストール時などに、「Windows2000」の CD-ROM を要求される場合があります。このときは、「c:¥support¥i386」と指定してください。ファイルを指定できないときは、あらかじめ「リカバリ CD-ROM3/3」を CD-ROM ドライブにセットしてからやり直してください。

重 要

- 上記フォルダは削除しないでください。削除すると、Windows コンポーネントの追加などができなくなります。

本パソコンで使用するソフトウェア

古いバージョン／レベルのソフトウェア（アプリケーション、ドライバ）を使用すると、本パソコンおよびソフトウェアが正常に動作しない場合があります。本パソコンに添付されているソフトウェアは、添付されているバージョンを使用するか、その最新版を入手して使用してください。
また、本パソコンに添付されていないソフトウェアの場合も、最新版を使用してください。

他の OS を使うには

他の OS を使うには、いくつかの設定を行う必要があります。また機種により使用できない OS もあります。詳しくは、富士通パソコンホームページ FM WORLD（http://www.fmworld.net/）をご覧ください。
なお、インターネットをご利用になれない場合は、ご購入元にご確認ください。

Acrobat Reader について

市販のアプリケーションによっては、インストールの際に、Acrobat Reader を一緒にインストールするものがあります。このとき、本パソコンにプレインストールされている Acrobat Reader 4.05 よりも低いバージョンのものがインストールされてしまうことがあります。
バージョンをご確認のうえ、Acrobat Reader 4.05 をインストールし直してください（‥▶ P.56）。

ネットワーク運用時の省電力機能

ネットワーク環境下で省電力状態へ移行すると、お使いになるアプリケーションによっては、復旧後に不具合が発生する場合があります。
不具合が発生した場合は、本パソコンを再起動してください。
また、通信中は省電力状態へ移行させないでください。

LAN 着信によるレジューム（Wakeup On LAN）機能

ネットワーク環境下で LAN 着信によるレジューム（Wakeup On LAN）機能を使用する場合は、次の設定を行ってください。

1. Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
2. 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
   「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
3. 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。
   「デバイスマネージャ」ダイアログボックスが表示されます。
4. 「ネットワークアダプタ」をダブルクリックします。
5. 次のアダプタを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
   - 〔NA〕〔MR〕
     Intel(R) PRO/100 VE Network Connection
   - 〔NU〕〔MF〕〔MC〕
     Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter (10/100)
6. 「電源の管理」タブをクリックします。
7. 次の 2 つの項目をチェックし、「OK」をクリックします。
   - このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を元に戻すことができるようにする
   - 電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする

ネットワーク使用時の留意事項

次の LAN デバイスを複数使用したネットワーク運用は行えません。

- 2 枚の LAN カード
- パソコン本体の内蔵 LAN デバイスと LAN カード

フロッピーディスクドライブユニットの着脱〔NA〕〔MR〕〔MF〕〔MC〕

フロッピーディスクドライブユニットが接続されていない状態で A ドライブにアクセスすると、応答に時間がかかる場合があります。

タッチパネルドライバの留意事項（〔MC〕タッチパネルモデル）

- タッチパネルドライバがインストールされている場合は、PS/2 マウスでのホイール機能はサポートしておりません。
- タッチパネルドライバをアンインストールすると、エラーメッセージが表示されることがありますが、アンインストールは問題なく行われます。

「管理ツール」の「コンポーネントサービス」の留意事項

「コンポーネントサービス」の「コンピュータ」はログオン後 10 分ほど経過してから開くようにしてください。
ログオン後すぐに「コントロールパネル」ウィンドウの「管理ツール」アイコンをダブルクリックし、「コンポーネントサービス」で「コンソールルート」の「コンポーネントサービス」の「コンピュータ」を開こうとすると、まれにアプリケーションエラーが起きることがあります。このエラーが起こると、本パソコンの動作が不安定になります。
この場合は、本パソコンを再起動してください。再起動後は問題なくお使いになれます。

CD-ROM ドライブユニットの留意事項

「コントロールパネル」ウィンドウの「管理ツール」アイコンをダブルクリックし、「コンピュータの管理」で「記憶域」の「リムーバブル記憶域」の「物理的な場所」を表示した場合、CD-ROM ドライブユニットが 1 つしかないにもかかわらず 2 つ表示されることがあります。この場合は、赤い×印のついているドライブを選択し、「操作」メニュー→「削除」の順にクリックして削除してください。

Outlook Express のパスワードについて

Administrator でログオン時に、インターネット接続ウィザード中に設定したメールのパスワードが、Outlook Express に反映されません。
Outlook Express 起動後にメールのパスワードをもう一度設定してください。

インターネットに接続されていない環境でのオンラインサポートについて

インターネットに接続されていない環境では、オンラインサポートをご利用になることはできません。お手数ですがインターネットに接続してから実行してください。
　富士通パソコンホームページ FM WORLD：http://www.fmworld.net/

Office2000 オプションをご利用の場合

デスクトップの「マイネットワーク」アイコン→「ネットワーク全体」の順にダブルクリックし、「コンピュータの検索」をクリックするとエラーが表示されることがあります。この場合は、Office2000 に含まれるアプリケーション（Word や Excel など）を起動後に検索を行ってください。

ドライブの割り当て

- 〔NU〕〔MR〕〔MF〕〔MC〕では、3.5 インチ FDD ユニット（FMV-NFD324）が、ご購入時に「A:」ドライブに割り当てられます。
- コマンドプロンプト上と Windows 上では、ドライブの割り当てが異なることがあります。

Windows 2000 Service Pack1 の留意事項

- Windows 2000 Service Pack1 をインストールする際に、Norton Anti Virus の Auto-Protect 機能が「Xmldso.cab」ファイルをウィルスとして認識する場合があります。
- Windows 2000 Service Pack1 をインストールすると、別売の周辺機器などに添付されているドライバが Windows2000 の標準ドライバに置き換えられることがあります。この場合は、周辺機器などに添付されているドライバを再度インストールしてください。

RIS（Remote Install Service）を利用した Windows2000 のインストールについて

LAN 搭載モデルの場合、RIS の機能使用して、Windows2000 をインストールできます。インストールするには、本パソコンの BIOS 設定を変更したあと、LAN 経由で起動する必要があります。
なお、あらかじめ LAN 環境および RIS サーバを設定しておく必要があります。RIS の設定については、別途 Windows2000 Advanced Server などのマニュアルをご覧ください。

1 次の BIOS 設定を変更します（⇒『ハードウェアガイド』参照）。

- 「起動」メニュー内
  ネットワークサーバからの起動：使用する

2 本パソコンを再起動します。

3 「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されたら、すぐに【F12】キーを押し続けます。
「起動メニュー」または「Boot Menu」が表示されます。

4 「Intel UNDI, PXE-2.0 (build 078)」を選択し、【Enter】キーを押します。

ワンタッチボタン設定のタブ表記について

ワンタッチボタンを設定するときに表示されるプロパティと、ワンタッチボタン自体の表記で異なるところがあります。次のように読み替えてお使いください。

ボタンの表記	プロパティでの表記
ボタン 1	Application A
ボタン 2	Application B
ボタン 3	Internet
ボタン 4	E-mail

Microsoft(R) Office 2000 Professional ／ Microsoft(R) Office 2000 Personal をお使いの場合

初めて Office2000 をお使いになるときには、必ず Administrator グループのメンバーとしてログオンし、「Microsoft Office 2000 ユーザ情報」の設定を行ってください。その他のユーザーとしてログオンした場合、Office2000 は起動しません。

この場合は、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックし、「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックします。一覧から「Office」を選択し、「変更」をクリックします。表示された画面から「Office の修復」をクリックしてください。

OAK V8 をお使いの場合

カスタムメイドオプションで OAK V8 または、OASYS V8 を追加インストールした場合、Administrator グループのメンバー以外で初めてログオンすると、「OAK」のダイアログボックスが表示されます。この場合は OAK を使用する状況に応じて選択し、「OK」をクリックしてください。

Memo

索引

記号

10 円メールマスター 18
　ーのインストール 59

A

Acrobat Reader 16
　ーのインストール 56

B

BATTERYAID 16
　ーのインストール 54

C

cdmaOne 接続用 USB ケーブル 35

D

DirectCD 17
DVD/CD-ROM ドライブ 19

E

Easy CD Creator 17
Encryption Pack 17
　ーインストール 56

F

FAT32 . . . . . 21, 72
FM Advisor 16, 65
　ーのインストール 55
FMKEEPER 18
　ーのインストール 58
FM-Menu 18
　ーのインストール 59
FMV 診断 17, 65
　ーのインストール 56
FM モバイルスイッチャー 17
　ーのインストール 58

G

GlidePoint 17

H

H"IN サインアップ 18
H"IN モジュール 17
H"IN ユーティリティ 17

I

IDE ATA/ATAPI コントローラ 19
Intel SpeedStep 16
　ーのインストール 55
Internet Explorer 5.01 16

L

LAN 着信によるレジューム機能 74

M

Microsoft IME 2000 16
MODEL 68

N

NIFTY MANAGER 18
　ーのインストール 60
NTFS 21, 72
NumLock 65

P

PCMCIA アダプタ 19
PHS 接続用 USB ケーブル 35

U

USB（Universal Serial Bus）
コントローラ 19

V

VirusScan 17, 24
　ーのインストール 58

W

Wakeup On LAN 機能 74
Windows2000 16
　－ Service Pack1 のインストール . . 54
　－セットアップ 8
　－の CD-ROM 73
Windows 環境調査ツール
（FM Advisor） 16, 65
　－のインストール 55

あ行

アンインストール 22
色数 27
お問い合わせ前の確認シート 70

か行

解像度 27
キーボード 19
機種名 68
携帯電話接続用 USB ケーブル 35
コンピュータ 19
コンピュータウイルス
　－の被害届け 25
　－を発見した場合 25

さ行

サウンド、ビデオ、および
ゲームコントローラ 20
自動ログオン 66
情報サービス 68
情報処理振興事業協会 25
シリアルケーブル接続 66
赤外線デバイス 21
セキュリティボタン 17
　－のインストール 57
全画面表示の設定 33

た行

タッチパネル
　－ドライバの留意事項 74
　－の調整 12
他の OS 73
ディスプレイアダプタ 20
ドライバーズ CD 53
ドライブ構成 21
トラブルシューティング 62

な行

ネットワーク
　－ ID の設定 11
　－アダプタ 20
　－運用時の省電力機能 73
　－コンポーネントのインストール . . 11
　－使用時の留意事項 74
　－の設定 11

は行

ハードディスクの領域を設定する 51
はじめよう！インターネット
（@nifty） 18
　－のインストール 59
パスワード 66
光磁気ディスク 65
　－ドライブをスーパーフロッピー
　　形式で使用する 65
光磁気ディスク・
ユーティリティ 18, 65
　－のインストール 59
表示装置を切り換える 30
ファイルシステムの変換 72
富士通 3 モードフロッピーディスク
ドライバ 16
プレインストール
　－仕様 16
　－ソフト 16
フロッピーディスク
　－コントローラ 20
　－ドライブ 20
　－ドライブユニット 74
ポート（COM と LPT） 20

ま行

マウスとそのほかの
ポインティングデバイス 21
マウスポインタのデザインを変える . . . 67
モデム 21
　－を設定する 34
モニタ 21

や行

ユーザー登録 13

ら行

リカバリ 46, 48
リカバリ CD-ROM 46
リカバリ CD-ROM 起動ディスク
　ーのコピー 13
　ーの作成 15
連絡先 68

わ行

ワイヤレスリンク 44
ワンタッチボタン設定 17
　ーのインストール 57

Memo

FMV-6850NA8/B　FMV-6750NA8/L
FMV-6700NU8/L　FMV-655NU8C/L　FMV-655NU8C/W
FMV-6650MR8/L
FMV-6600MF8/X　FMV-655MF8/W
FMV-6600MF8/X1　FMV-6600MF8/X2
FMV-650MC8/W　FMV-650MC8/W1　FMV-650MC8/W2

Windows® 2000 モデル
ソフトウェアガイド
B5FH-1911-01-00

発 行 日　2000 年 11 月
発行責任　富士通株式会社

● 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
● 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
● 無断転載を禁じます。